圖書館

館、圖書冊數ハ年度末ノ現在數ヲ掲ケ開館日數、閲覧人員ハ年度内ニ於ケル總日數及總人員ヲ掲クヘシ

學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閲覧ヲ許スモノハ總テ之ヲ計入スヘシ但シ閲覧人員中ニハ本校職員及生徒ハ之ヲ算入スヘカラス

第三學事統計表中町村組合若ハ町村學校組合ノ設置ニ係ルモノハ町村立ノ欄ニ掲クヘシ

乙號表

一　學級別市町村立私立小學校表

年度内三月一日ノ現在ニ依リ掲クヘシ

尋常高等小學校ハ其ノ全校ノ學級數ニ依リテ掲ケ更ニ之ヲ尋常高等ニ分チ尋常小學校高等小學校ノ部ニモ朱書ヲ以テ掲クヘシ

十三學級以上ノ學校ニ在リテハ一學級ヲ加フル毎ニ區別シテ空欄ノ部ニ掲クヘシ

分教場ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

補習科ノ學級數ハ計入スヘカラス但シ補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルモノハ此限ニ在ラス

二　加設科目ヲ課スル市町村立私立小學校表

年度末ノ現在ニ依リ掲クヘシ

尋常高等小學校ニ係ルモノハ尋常高等ニ分チテ掲ケ又裁縫及裁縫手工ノ欄ニハ高等小學校ニ係ルモノハ掲クヘカラス

英語ノ欄ニハ單ニ英語ヲ課スル學校ヲ掲ケ英語ト其ノ他ノ科目トヲ併セ課スル學校ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

補習科ノ欄ニハ補習科ノ教科目中ニ本表ニ所謂加設科目アルモノハ總テ其ノ數ヲ掲クヘシ

三　市町村立小學校教員俸給別表

月俸額別人員ハ年度末ノ現員（休職者ヲ除ク）ニ就キ之ヲ掲クヘシ

最多月額、最寡月額ハ年度末ニ於ケル各教員ノ月俸中最多額及最寡額ヲ掲ケ其ノ平均月額ハ年度末ニ於ケル各教員ニ對スル月俸ノ總額ヲ其ノ教員數ヲ以テ除シタル額ヲ掲クヘシ

明治三十三年省令第十四號第百四十八條但書第百四十九條第百五十條第百六十六條ニ依ルモノニシテ掲クヘキ當該欄ナキトキハ其ノ俸給額ノ欄ヲ設ケテ掲ケ同第百五十一條ニ依ルモノハ合算シテ掲クヘシ

四　市町村立小學校授業料表

授業料ヲ徴收スル學校ニ就キ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ但シ尋常高等小學校ニ係ルモノハ尋常高等ニ分チ各々適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ又補習科ニ係ルモノハ計入スヘカラス

授業料最多月額、最寡月額ハ年度内三月一日ニ於ケル兒童ノ授業料中最多額及最寡額ヲ掲クヘシ

但シ明治三十三年省令第十四號第百七十九條第百八十條ノ規定ニ依リ授業料ヲ增減シ又ハ其ノ一

部ヲ免除シタルモノハ之ヲ掲クヘカラス

授業料平均月額ハ年度内三月一日ニ於ケル各兒童ノ授業料月額總計ヲ授業料ヲ納ムル兒童ノ總數ヲ以テ除シタル額ヲ掲クヘシ

授業料免除兒童ハ年度内三月一日ニ於ケル現員ヲ掲クヘシ

五　公立中學校高等女學校專門學校實業學校生徒卒業後ノ狀況表

前年度内ニ卒業シタル者ニ就キ次年度末ノ現況ヲ掲クヘシ但シ一人ニシテ二種以上ノ事項ニ涉ル者アルトキハ適宜ノ符號ヲ以テ各當該欄内ニ於テ區別シテ掲ケ合計ノ部ニハ實人員ヲ掲クヘシ

六　學齡兒童中盲啞者表

年度末ニ於ケル現員ヲ掲クヘシ

七　學校醫表(第一)

年度内三月一日ニ於ケル學校醫ノ現員並其ノ擔任セル學校數ヲ掲ケ其ノ手當年額ハ現員ニ對スル年額ヲ掲クヘシ但シ日當ヲ給スル者アルトキハ年度内出勤日數ヲ概定シ之ヲ日當額ニ乘シタルモノヲ欄クヘシ又一人ニシテ二校以上ニ從事スル者ハ各校一人トシテ掲クヘシ又分校ハ一學校トシテ計入スルヲ要ス

人員中手當ヲ給セサルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

八　學校醫表(第二)

學校醫ノ資格ニ基キ年度内三月一日ニ於ケル其ノ擔任ノ學校數、生徒又ハ兒童數、年度内四月一

日ヨリ三月一日ニ至ル視察回數ニ依リ區別シテ各人員ヲ掲クヘシ但シ一校ニシテ二人以上ノ學校醫ヲ置キタル場合ニ在リテハ擔任ノ生徒又ハ兒童ハ其ノ學校醫ノ數ヲ以テ生徒又ハ兒童ノ總數ヲ除シタル數ニ依リ掲クヘシ

醫術開業免狀ヲ有スル者ハ明治十六年布告第三十五號醫師免許規則第二條又ハ第四條ニ依リ該免狀ヲ有スル者ヲ掲クヘシ但シ第四條ニ依ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ又分校ハ一學校トシテ計入スルヲ要ス

擔任ノ最多學校數、最多生徒又ハ兒童數ヲ備考ノ欄ニ掲クヘシ

九　中學校高等女學校實業學校生徒學年別表

年度内三月一日ノ現在生徒ニ就キ各學科ニ依リ各校各別ニ掲クルモノニシテ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ又各別ニ掲クヘシ但シ實業學校ニ就キテハ男女ヲ區別シテ掲クヘシ

本表ニハ實業補習學校ニ係ルモノハ掲クヘカラス

丙號表

一　公私立諸學校表

學校ハ年度末ノ現在ニ依リ各校各別ニ掲クルモノトシ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ又各別ニ掲クヘシ但シ小學校ニ係ルモノハ之ヲ掲クヘカラス

學科ハ年度内三月一日ノ現在ニ依リ中學校、高等女學校、專門學校、實業學校等ニシテ二種以上

ノ學科課程ノ設ケアルモノハ各別ニ之ヲ掲ケ實業學校中農業學校、商業學校、商船學校ニ就キテハ甲種若ハ乙種ナルコトヲ附記シ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校中更ニ高等ナル學校ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ

各種學校ニ在リテハ其ノ授クル學科目ヲ列記スヘシ但シ五科目以上授クルモノハ其ノ重ナル五科目ヲ掲ケ其ノ他ハ外幾科目ト附記スヘシ

教員ハ年度末ノ人員（公立學校ニ在リテハ休職者ヲ除ク）ヲ掲クヘシ但シ公立學校教員中其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ朱書ヲ以テ掲クヘシ又外國人ハ其ノ國名ヲ附記スヘシ

學級數、生徒ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ

授業料及經費ハ私立學校ニ係ルモノヽミヲ掲クヘシ

學校長ノ欄ニハ學校長ヲ置カサル學校ニ就キテハ首席教員ヲ掲ケ適宜ノ符號ヲ以テ學校長ト區別スヘシ

二　公立幼稚園表

幼稚園ハ年度末ノ現在ニ依リ各園各別ニ掲クヘシ

保姆ハ年度末ノ人員ヲ掲ケ組數、幼兒ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲ケ保育料、經費、園長ハ前表ノ例ニ準シテ掲クヘシ

三　公私立圖書館表

圖書館、圖書ハ年度末ノ現在ニ依リ各館各別ニ掲ケ學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閲覽ヲ許スモノハ總テ之ヲ掲クヘシ但シ學校等ニ附屬スル圖書館ニハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ

閲覽料、經費ハ私立ニ係ルモノヽミヲ掲クヘシ

丙號表中明治三十三年勅令第百三十六號ニ依リ設立シタル學校、幼稚園、圖書館ニハ適宜ノ符號ヲ付スヘシ

丁號表

一　公學費表

年度内ニ於テ支出シ收入シタルモノヲ掲ケ經費支辨ノ區別ニ從ヒ郡、市、町村ノ三表ニ分チテ掲クルモノトシ表題ニ郡若ハ市若ハ町村ト記入スヘシ

學校、幼稚園、圖書館等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ總テ之ヲ本校ノ部ニ計入スヘシ

甲種實業學校ニ乙種實業學校ノ學科ヲ併置シタルモノニシテ其ノ收支ノ分割シ難キモノハ甲種ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

圖書館ノ下「其ノ他」ノ部ニ教員講習、學務委員ニ關スルモノ、如キ學校、幼稚園、圖書館ノ各部ニ屬セサルモノヲ掲ケ且此ノ部ノ費額ハ備考ノ欄ニ於テ別ニ其ノ種類ヲ分チ各總額ヲ列記スヘシ

中學校、高等女學校ニ係ルモノニシテ教諭、助教諭ニアラサル教員ノ俸給ハ代用教員俸給ノ欄ニ掲クヘシ但シ當該學校教員免許狀ヲ有スル者アルトキハ其ノ俸給ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

雜給ハ事務雇員手工農業等ニ關スル職工農夫、小使門番ノ給料及臨時使役ノ人夫賃等ヲ掲クヘシ

生徒給費ハ生徒ニ給シタル學資金額ヲ掲クヘシ又貸費金額ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ本欄ニ掲クヘシ

新築費ノ内ニハ敷地買入代ヲモ計入スヘシ

其ノ他ノ諸費ハ前種別ノ欄ニ入ラサル總テノ費額ヲ掲ケ恩給ニ關スル郡、市、町村ノ納金亦茲ニ計入スヘシ

收入ノ部ニハ尋常高等小學校ノ授業料ハ之ヲ尋常高等ニ區別シテ記入シ又米穀其ノ他ノ物品等ニシテ金額ニ換算シ決算シタルモノハ總テ之ヲ計入スヘシ

金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓ニ止ムヘシ

二　公學資產表

年度末ノ現在ニ依リ前表ノ例ニ準シ郡、市、町村ノ三表ニ分チ又附屬學校等ニ係ルモノハ同表ニ準シテ掲クヘシ圖書館ノ下「其ノ他」トアル亦同シ

家屋坪數ニハ二階三階等ノ坪數ヲモ合算シテ掲クヘシ

土地、家屋、圖書器械標本、器具ノ價格ハ時價ヲ以テ掲クヘシ屋外體操場ハ敷地トシテ計入スヘシ

學校基本財產中前種別ノモノト重複スルモノ亦之ヲ掲クヘシ又金額ノ中ニハ公債證書其ノ他ノ有價證券モ時價ヲ以テ計入スヘシ

金員及坪數ノ計算ハ四捨五入シテ圓又ハ坪ニ止ムヘシ

三　公立諸學校幼稚園圖書館收支表

年度末現在ノ學校、園、館ニ就キ各別ニ年度内ニ收入シ支出シタルモノヲ掲ケ其ノ收入ニ關スルモノハ公學費表ノ例ニ準シテ掲クヘシ但シ實業學校ニ在リテハ學校ニ屬スル收入ノ中製作品又ハ收穫物賣拂代價ヲ區別シテ掲クヘシ

金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓ニ止ムヘシ

本表ニハ小學校ニ係ルモノハ掲クヘカラス

年報　第十七表

明治何年何市物價表　何郡(市)役所

種類	立物名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
玄米	一石	肥後												
白米	一石	地廻												
大麥	一石	播州												
小麥	一石	備中												
裸麥	一石	攝津												
鹽	一石	赤穗												
味噌	一貫目	仙台												

円錢厘

醬油	漬物（澤庵四斗樽入一樽）	梅干（四斗樽入一樽）	薪	炭	石炭	芻秣	糞
一石			十貫目	十貫目	一噸	十貫目	十貫目

一 立物ハ當該市場ニ於テ取引スル多量ノ物品ニ依ル但本表記載ノ物名ハ其例ヲ示スモノトス

二 商業會議所々在地ノ市場ニ在テハ毎年商業會議所ヨリ農商務省ヘ報告スル物價統計ニ依リ其市場ニ在テハ毎月少クトモ三回（例之毎五ノ日）ノ價格ヲ平均シテ其ノ月ノ平均トナシ各月ノ平均ヲ以テ其年ノ平均ヲ算出ス

三 表中著名ナラサル市場ニ在テハ郡ヲ冠シテ其所在地ヲ明カニスヘシ

四 一郡市二個所以上ノ市場アルトキハ最著名ナルモノ一個所ノ市場ニ就キ調査スヘシ

年報 第十八表ノ一

徽發物件表

何郡（市）役所 何町（村）役場　　明治何年十二月三十一日調

車輛						農産物（收穫高）					
乘用車	荷馬車	牛車	荷車	人力車	橇	牛	米（粳米 糯米 陸米）	大麥	小麥	稞麥	芻秣

調査上ノ注意

一 車輛及橇ハ官有公有ヲ問ハス總テ之ヲ算ス荷車ノ内手荷物又ハ土砂等ノ運搬專有ニ供スルモノハ省ク又橇ハ馬匹ヲ以テ牽引スルモノニ限ル

二 牛及米麥ハ勸業統計材料ト同一ナルヲ要ス

三 芻秣ハ一年間ノ實收高ヲ掲ク

四 各欄ノ數前回ノ分ニ對シ著ク增減アルモノハ表末ニ備考ヲ設ケ其事由ヲ詳記スルヲ要ス

第三表 場工表ノ一 （年報第十八表ノ二）

西洋形船舶及舶用機關製造修理場表

何市役所 何町（村）役場　　明治何年十二月三十一日調

名稱	所在地名	會社ノ種類	資本	創立年月	職員	持主	社長	技師長 造船	技師長 造機	造船
					位記學位					

名 一專門技術ヲ研究シタル場所 一實業ニ從事シタル年月

| 技師 | | | | | 製圖所員 | | 職工長 | | 造船職工 | 端舟職工 | 船具職工 | 塡隙職工 | 製帆職工 | | 船 | | | | |

| | | |

| | | |

第三表　工場表ノ二　（年報第十八表ノ三）

鑄造工場表（一回ノ熔鉄本表ニ百キログラム以下ノ工場ハ本表ニ掲クルヲ要セス）　何何町市（村）役場所　明治十一月三十一日調

工場名稱	
創立年月	
會社ノ種類	
持主名	
所在地	
熔鐵爐 種類	
熔鐵爐 數	
熔鐵量	（爐數ノ多少ニ拘ハラス一回ニ熔解シ得ル最大重量ヲ掲クヘシ）
送風機 種類	
送風機 數	
職工數	（場内最大事業ニ使用スル一日ノ總數ヲ掲クヘシ）
常時製造スル品種	
起重器其他重要機械器具ノ要領	
右ノ外製造力及工業程度ヲ示スヘキ要領	

第四表　工場表ノ三　（年報第十八表ノ四）

鐵工場表（人力ハ本表ニ掲クルヲ要セス動力ハ本表ニ掲クルヲ要セス）　何何町市（村）役場所　明治十一月三十一日調

工場名稱	
創立年月	
會社ノ種類	
持主名	
所在地	
旋盤 種類	
旋盤 數	
旋盤ニ掛ケ得ヘキ物品 最大長	
旋盤ニ掛ケ得ヘキ物品 最大徑	
原動機 種類	
原動機 馬力	
「ドリリング」其他重要機械器具ノ要領	
職工數	（場内最大事業ニ使用スル一日ノ總數ヲ掲クヘシ）
右ノ外製造力及工業程度ヲ示スヘキ要領	

雜件

第十八表ノ五　第一頁

汽船表（總噸數百噸以上ノモノニ用ヒルモノ）　何何町市（村）役場所　明治十一月三十一日調

船名	丸原名號
所有者	縣道府 區市郡 町村大字 番地
船籍港	港
船體ノ材料	（鋼ハ鋼ハ鐵或ハ木）
於港	明治年月日調

管轄廳

本船番號 ／ 號

信號符字

登簿噸數 ／ 噸

總噸數 ／ 噸

載貨噸數 重量（英二千斤ヲ一噸トス） ／ 噸

載貨噸數 方積（四十立方呎ヲ一噸トス） ／ 噸

尺度 長（呎或ハ尺） ／ 幅（同） ／ 深（同）

喫水 載貨 船首 呎 吋 ／ 船尾 呎 吋

喫水 空船 船首 呎 吋 ／ 船尾 呎 吋

使用ノ目的（旅客船、旅客貨物船、貨物船、曳船又ハ特別ノ構造）

檣及避雷針ノ數 檣 本 ／ 避雷針 本

資格等級 第 級船

舷梯ノ數及幅 數 箇 ／ 幅 呎 吋

甲板層數 層 ／ 支水隔壁ノ數 箇 所

單底或ハ二重底（一部ノミナルトキハ其長サヲ記ス）

漏機ノ種類及數

主漏罐ノ種類及數 漏壓制限 磅

補助漏罐ノ種類及數 最大漏壓 磅

漏罐使用水ノ種類（清水或ハ海水）主漏罐 ／ 補助漏罐

推進器ノ種類（單或ハ雙）

馬力 公稱 ／ 實

速力 最強 海里 ／ 尋常 海里

製造 船體

上甲板ヲ面ヨリ檣ノ高サ 「アッパルマスト」「ヘッド」マテ ／ 「ローアマスト」「ヘッド」マテ

檣前 呎 吋 ／ 檣 呎 吋

檣大 呎 吋 ／ 檣 呎 吋

檣後 呎 吋 ／ 檣 呎 吋

同 年月 地名

航路定限 ／ 漏罐

發航地 寄航地 到達地

網具裝置

製造又ハ買入價格

檢査年月日及有効期限 特別 定期 年 月 日 明治 年 月 日 ／ 有効期限

奬勵金ノ有無 造船 ／ 航海

石炭庫容量 常用 噸 ／ 豫備 噸

清水 飲用水槽 噸

貯量 壓艙水艙 漏罐ニ補給シ得ヘキ裝置アルモノ 噸 ／ 必要ノトキハ飲用ニ供スヘキモノ 噸 ／ 其他 噸 ／ 合計 噸

操舵機ノ種類及數 手働 ／ 漏働

揚錨機ノ種類及數 手働 ／ 漏働

揚貨機 數及力 特別裝置ヲ施シタルトキノ最大起重力

備付艇舟 小蒸漏艇 隻 ／ 救命艇 隻 ／ 「ギグ」「ジョリー」隻 ／ 「カッター」隻 ／ 傳馬船及其他ノ解舟 隻

常設客室床數 「ソファー」數 旅客定員 一等 室 床 長サ六呎以上ノ「ソファー」幅二呎 箇 定員 人 ／ 二等 室 床 箇 定員 人 ／ 三等 室 定員 人

常備常態ニ於ケル全潮罐ノ罐水容量	噸
尋常速力ニテ一昼夜消費高 石炭	噸
内部油	「ガロン」
外部油	「ガロン」
點燈油	「ガロン」
獸脂	斤
絲屑	斤
潮罐補給清水	噸
蒸溜水機	數
一昼夜ノ蒸溜高	「ガロン」
喞筒 海水用	箇
清水用	箇
移動	箇
白熱電燈ノ有無	
製氷機ノ有無	

同第三頁

上甲板ニ設置シ得ル馬欄數	位置区分	馬欄數	甲板材料（木或ハ鉄）	上甲板ニ兵員ヲ搭載シ得ル室アルトキハ搭載兵員數等	位置区分	兵員	舷窓	通風管	排水孔	載貨門	甲板材料	容積 立方呎
前部	頭		一昼夜ノ蒸溜高「ガロン」		後部 前部	人	箇	箇	箇	箇	箇	立方呎

食堂 一等 長 呎	食堂 一等 幅 呎	食堂 一等 容積 立方呎	食堂 二等 長 呎	食堂 二等 幅 呎	食堂 二等 容積 立方呎	浴室	便所	乘組定員		炊米具		
						一等用 箇	一等用大 箇	船長及運轉士 人	機關長及機關士 人	種類	員數	一回ニ炊キ得ル量
						二等用 箇	二等用大 箇	甲板部員 人	機關部員 人			同上ニ要スル時間
						三等用 箇	三等用大 箇	自餘乘組員 人	事務長及事務員 人			
						船員用 箇	船員用大 箇					

長約四十呎重量約二十噸ノ汽艇ヲ搭載シ得ル數

長約三十呎幅七呎重量約二噸ノ舟ヲ搭載シ得ル數

上甲板上ニ 端艇 隻 釣ニ 隻

及甲板材料	後部	頭	吹煙室 長 呎	吹煙室 幅 呎	吹煙室 容積 立方呎	談話室 長 呎	談話室 幅 呎	談話室 容積 立方呎
			長六呎幅二呎以上ノ「ソファー」ノ數		箇	長六呎幅二呎以上ノ「ソファー」ノ數		箇

兵員馬匹搭載數、舷窓、通風管、排水孔ノ數、甲板ノ材料、甲板間ノ高、艙口載貨門ノ	中甲板 区分	兵員	馬匹	舷窓	通風管	排水孔	甲板ノ材料	甲板間ノ高サ（其甲板ヨリ直上甲板船口ノ尺度但上甲板ノ「ビーム」端下迄）	直上甲板船口ノ尺度但「ビーム」受金物ヲ除ク	載貨門ノ尺度	載貨門ノ數及容積	縦 呎	横 呎	高 呎	立方呎
	第一	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第二	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第三	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第四	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第五	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第六	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	下甲板 区分	兵員	馬匹	舷窓	通風管	排水孔	甲板ノ材料	甲板間ノ高サ（其甲板ヨリ直上甲板ノ「ビーム」下端迄）	直上甲板船口ノ尺度但「ビーム」受金物ヲ除ク	載貨門ノ尺度	載貨門ノ數及容積	縦 呎	横 呎	高 呎	立方呎
	第一	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第二	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第三	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎
	第四	人	頭	箇	箇	箇		呎	呎	時	箇	呎	呎	呎	立方呎

区分／番號	馬匹	通風管	容積
尺度並ニ容積 板 第五	人頭	箇	箇 呎吋 高幅 呎吋 立方呎
尺度並ニ容積 板 第六	人頭	箇	箇 呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第一	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第二	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第三	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第四	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第五	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎
第六	頭	箇	呎吋 縦横 呎吋 立方呎

艙内ニ搭載シ得ル馬匹數及通風管甲板ノ高、艙口ノ尺度、容積並ニ假甲板ヲ張リタルトキニ搭載シ得ル兵員ノ數

内底ノ板ヨリ直上ノ甲板ノ「ビーム」下端マテノ高サ

艙口ノ尺度但シ蓋受金物ヲ除ク

艙梁上ニ假甲板ヲ張リ得ルモノハ假甲板上ニ搭載シ得ル兵員數

備

一 兵員寢棚ヲ設置スルニハ甲板間ノ高サ（其甲板ヨリ直上甲板「ビーム」ノ下端マテ）六呎以上ナルトキハ二段ニ設ケ一人ニ要スル面積ハ長サ六呎巾二呎トス

但シ寢棚ヲ二列以上ニ設クルトキハ其間ニ二呎六吋以上ノ通路ヲ要ス

二 上甲板ニ設置スヘキ馬闌ハ一箇ノ長サ八呎（秩槽ノ幅呎ヲ含ム）幅二呎六吋高サ七呎ニシテ通常兩舷側ニ沿ヒ馬首ヲ内方ニ向ケ一列ニ設置シ而シテ馬首ノ前方ニ二呎以上ノ通路ヲ設クルモノトス若シ馬闌ヲ二列以上ニ設クルトキハ各列間ニ二呎以上ノ通路ヲ要ス

三 中甲板及下甲板ニ馬闌ヲ設置スルニハ甲板間ノ高六呎八吋以上ナルヲ要ス而シテ馬闌ノ長、幅、通路等ハ上甲板ノモノニ同シ

四 艙内ニ設置シ得ル馬闌ノ尺度ハ中甲板ノモノニ同シ

五 中甲板以下ヘ馬匹ヲ搭載スルニハ艙口ノ大サ八呎以上ナルヲ要ス

六 新ニ造リ又ハ新ニ買入レタル船舶ニアリテハ船體中心線縦截面圖、要部横截面圖、船體各甲板及艙内平面圖（給口、諸室、支柱、通風器、諸水管、諸瀉管、車軸隧道及其他ニシテ馬闌寢棚等ヲ設置スルニ防害トナルモノハ總テ記入スルヲ要ス）ヲ添フヘシ

圖

年表第十八表ノ六　第一頁

漁船表（總噸數百噸未滿ノモノニ用フルモノ）

何市役所 何町（村）役場 明治何年十二月三十一日調

船名	丸 原名	號	於港明治年月日調査
所有者	道府縣 市郡區 町村 大字 番地		
船籍港（或ハ定繫港）		使用ノ目的（旅客船、旅客貨物船、貨物船、曳船又ハ特別ノ構造）	
管轄廳		檣數	本
本船番號（或ハ免狀番號）	號		
信號符字		船體材料（銅、鐵又ハ木）	

噸數	總噸		
登簿噸	噸		
尺度	長(呎或ハ尺)		
幅(同)			
深(同)			
喫水	載貨	船首	呎
		船尾	呎
	空船	船首	呎
		船尾	呎
速力	最強	海里	
	尋常	海里	
製造年月	船體		
	汽機		
同	第二頁		
尋常速力ニテ一昼夜消費高	石炭	(噸或ハ斤)	
	内部油	(「ガロン」或ハ升)	
	外部油	(「ガロン」或ハ升)	
	獸脂	斤	
	絲屑	斤	
甲板ノ層數		層	
汽機ノ種類			
汽罐ノ種類			
汽壓制限		磅	
推進器ノ種類		(單、雙暗車外車)	
馬力	公稱		
	實		

地名	汽罐		
航路定限			
發航地、寄航地、到達地			
製造又ハ買入價格			
檢査	年月日		
	有効期限		
石炭庫容量		(噸或ハ斤)	
飲用水槽容量		(噸或ハ石)	
揚錨機ノ種類		(手働或ハ汽働)	
載貨喫水線ヨリ舷ノ上端マテノ高サ		(船ノ中央部ニテ)	呎
			吋
上甲板面ヨリ舷ノ上端マテノ高サ		(船ノ中央部ニテ)	呎
			吋
上甲板排水口及排水孔ノ數		排水口(ウナツシボーム)	箇
		排水孔(スカンパー)	箇
曳船裝置ノ有無			
備付艇舟		端艇	隻
		傳馬船及其他ノ艀舟	隻
旅客定員		一等	人
		二等	人
		三等	人
乘組定員	甲板部員		人
	機關部員		人
	自餘乘組員		人
	船長及運轉士		人
	機關長及機關士		人
	事務員		人

年報 第十八表ノ七

徵發物件量數表

何郡(市)役所
何町(村)役場

明治何年十二月三十一日調

郡町市村名 ＼ 品目	玄米	精米	鹽	味噌	醬油	漬物	梅干	大麥	小麥	稞麥	稞麥	松薪	堅薪	炭	石炭	藁
	石	石	石	貫	石	樽	樽	石	石	石	石	貫	貫	貫	貫	貫

一漬物及梅干一樽ハ四斗入トス

年表　第十九表

米（調査毎年報告期其年十二月限）明治何年調

廳名	作付段別				收穫高				一段歩收穫高	
	糯米	糯米	陸米	計	糯米	糯米	陸米	計	糯米	糯米	陸米
	段	段	段	段	石	石	石	石	石	石	石
何國何市											
何國何郡											
何國何郡											
何國何郡											
何國計											
合計											

一苗代跡地ニテ作付セサルモノハ本表作付反別ニ加入スヘカラス

一前年若クハ平年ニ對スル增減理由ヲ記スヘシ以下諸表之ニ準ス

一事實ナキモノハ「—」又事實未詳ノトキハ「未詳」ノ二字ヲ附記スヘシ以下之ニ同シ

一一段歩收穫高ノ計數ハ單位以下三位ヲ存スルモノトス

年報　第二十表

麥（調査毎年報告期其年七月限）明治何年調

廳名	作付段別				收穫高				一段歩收穫高		
	大麥	稞麥	小麥	計	大麥	稞麥	小麥	計	大麥	稞麥	小麥
	段	段	段	段	石	石	石	石	石	石	石
國郡市											
何市											
何郡											
國計											
何郡											
何郡											
何郡											

雜件

年報　第二十一表

食用及特用農産物（調査毎年報告期翌年一月限）

明治何年調廳名

國計 田	國計 畑	合計 田	合計 畑	合計 計	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	菜種 畑作	菜種 田作
					大豆	石	實綿	瓦		
					小豆		大麻			
					蠶豆		藍			
					豌豆		葉畑草			
					粟					
					稗					

黍	
蕎麥	
蘿蔔	
蜀黍	
甘藷	
馬鈴薯	
青芋	
何々	何々

一實綿、葉藍、葉烟草ハ乾燥シタルモノ大麻ハ莖ヲ去リ且乾燥シタルモノヲ以テ數フヘシ

一何々トアル欄ヘハ前掲ノ外各地方ニ於テ重要食用若クハ特用農産物トシテ耕作スルモノヲ掲クヘシ

年報　第二十二表

桑畑及茶畑別段（調査毎年六月末日現在報告期其年七月限）

明治何年六月末日現在調　廳名

段別 根株數	段別 刈同上	段別 刈桑株數	段別 同上段別	段別 立木株數	段別 同上段別	段別 根株數	段別 刈同上段別	段別 刈桑株數	段別 同上段別	段別 立木株數	段別 同上段別	見積段別 株數	見積段別 段別	計 株數	計 段別

桑畑	段	段	段	段
茶畑				

一見積段別ノ欄ニハ桑茶畑以外ニ散在セル桑茶ノ株數ヲ近傍桑茶畑ニ比準シ段別ヲ見積リテ記入スヘシ

年報　第二十三表

春蠶（調査毎年報告期其年七月限）　明治何年調

廳名	飼養戸數	掃立枚數	繭	玉繭	出殼繭	屑繭	計
		數	量	一石ニ付價額			
			石	円			

一天蠶柞蠶ハ本表ニ準シ別表トナスヘシ

一飼養戸數ノ欄ニハ其盛期ノ戸數ヲ記入スヘシ

一價格ハ生産者ヨリ製絲家若クハ仲買人等ニ賣渡ス相場ニテ記載スヘシ

以下諸表ノ價格モ亦之ニ準ス

一備考ニハ其ノ概況（氣候ノ適否、飼養ノ經過、桑葉ノ過不足）ヲ記スヘシ

年報　第二十四表

夏秋蠶（調査毎年報告期其年十月限）　明治何年調

廳名	夏蠶		秋蠶		
飼養戸數					
掃立枚數					
	數	量	一石ニ付價額	數	量	一石ニ付價額
		石	円		石	円
繭						
玉繭						
出殼繭						
屑繭						

| 計 | | |

烏龍番茶		
計		

一製造戸數ハ其年五月末日現在ヲ記入スヘシ（指定ノ月日ニ季節ニ達セサルトキハ盛期ノ數ヲ記入スヘシ）

一焙爐ヲ裝置シテ多量ニ製造スルモノハ自家用ト雖モ調査スヘシ

年報　第二十七表

砂糖（調査毎年報告期翌年二月限）　明治何年調

製造戸數	搾車數	數	量	一貫目ニ付價額	廳名
				円	
白下					
白砂糖					
赤砂糖					
黑砂糖					

糖蜜

一製造戸數及搾車數ハ其年十二月末日現在ヲ記入スヘシ

一白下ニハ製糖ノ原料ニ充テタル量ヲモ合算スヘシ

一洋式搾車アルトキハ別ニ之ヲ記スヘシ

年報　第二十八表

漆汁（調査毎年報告期翌年二月限）　明治何年調

漆樹數	製造戸數	數	量	一貫目ニ付價額	廳名
				円	
正味（幹搔）					
瀝濕（枝搔）					
雜液					

一漆樹數及製造戸數ハ其年八月末日現在ヲ記入スヘシ

一漆樹ハ漆汁ヲ採リ得ルモノヽミヲ記入スヘシ

年報　第二十九表

牛馬（調査毎年十二月末日現在　報告期翌年二月限）

明治何年十二月末日現在

廳名	牛 内種	牛 雜種	牛 外種	牛 計	馬 内種	馬 雜種	馬 外種	馬 計	頭數 牝	頭數 牡	頭數 計	上ノ内乳用 牝	上ノ内乳用 牡	上ノ内乳用 計	年内出産 牝	年内出産 牡	年内出産 計	年内斃死 牝	年内斃死 牡	年内斃死 計

一本表中ニハ中央官廳用ノモノヽ外總テ合算スヘシ

一其年中ニ出産シテ死亡シタルモノハ出産ノ欄ト斃死ノ欄トノ雙方ニ記入スヘシ

一獸疫ニテ死セシモノト雖モ撲殺セシモノヽ外ハ總テ斃死欄ニ記入スヘシ

年報　第三十表

羊豚（調査毎年十二月末日現在　報告期翌年二月限）

明治何年十二月末日現在

廳名	牝	牡	計
綿羊			
山羊			
豚 内種			
豚 雜種			
豚 外種			
豚 計			

年報　第三十一表

屠殺（調査毎年　報告期翌年二月限）

明治何年調

廳名	屠場數	頭數 牝	頭數 牡	頭數 計	斤量 牝	斤量 牡	斤量 計	價額 牝	價額 牡	價額 計	一頭ニ付平均斤量 牝	一頭ニ付平均斤量 牡	百斤ニ付平均價額 牝	百斤ニ付平均價額 牡

成牛	犢	馬	羊	豚
斤				
斤				
斤				
円				
円				
円				
円				
円				
円				

一斤量ハ内臓及毛皮ヲ除キタルモノヲ掲ケ且檢査濟食用ニ適スルモノタルヘシ

一成牛トハ二歳以上犢トハ當歳ノモノヲ云フ

一一斤ハ百六十匁ヲ以テ計算スヘシ

年報　第三十二表

號	何府縣（調査毎年十二月末日現在 報告期翌年二月限）	明治何年十二月末日現在	廳名

會社						
會社種類	會社名稱	營業種別	所在地名	創業年月	積立金	社債 總額	社債 拂込濟額	最近損益金 損	最近損益金 益

票	資本金 總額	資本金 拂込濟額	最近利益配當割合	支店數
	円			

一本票ハ一會社毎ニ雛形ノ通記入シ一票毎ニ番號ヲ附シ之ヲ一括シテ其封筒ニ總計何枚ト記入スヘシ

一會社種類ノ欄ニハ合名、合資、株式、株式合資ノ別ヲ記スヘシ

一營業種別ノ欄ニハ何々賣買若クハ何々製造ト記入スヘシ（了解シ難キモノニハ注釋ヲ加フヘシ）

一社債トハ社債券ヲ發行シテ弘ク債權者ヲ募集シ以テ金員ヲ借入ルヽモノヲ云フ

一損益金及利益配當割合ハ最近ノ一箇年分ヲ記入スヘシ

一本票用紙ハ厚紙ヲ用ヒ其寸法ハ曲尺縦五寸横四寸五分トス

一支店ニ於テハ金錢以外ノ各事項ヲ記入報告スヘシ

一會社ニシテ工場ヲ有スルモノハ別ニ工場票ヲ差出スヘシ

年報　第三十三表

綿絲紡績ノ一（調査毎年 報告期翌年三月限）　明治何年調　廳名

紡績所名	拂込濟資本金	一日平均運轉ノ錘數 堅針	一日平均運轉ノ錘數 斜針	一日平均運轉ノ錘數 計	管絲出來高 堅針	管絲出來高 斜針	管絲出來高 計	一日平均使用實馬力 蒸氣	一日平均使用實馬力 水車	營業一日數	一日平均就業時間
	円	本	本	本	本	貫	貫	貫			

計

綿絲紡績ノ二

紡績所名	石炭消費高	職工 男	職工 女	職工 計	職工賃錢 男	職工賃錢 女	首要製絲番數	同一捆(四十八貫目)平均價額	繰綿需用高	落綿出來高	屑絲出來高
	噸				錢	錢	手	円	貫	貫	貫
計											

一職工ハ平常使用スル數(一日ノ)ヲ記入スヘシ

一賃錢ハ老幼ヲ除キ一日平均ヲ記スルモノトス但シ幼年者ヲ用ユルアラハ其賃錢ヲ別ニ記スヘシ

年報 第三十四表

織物(調査毎年報告期翌年二月限)　明治何年調　廳名

何	機業戸數	機數 器械機	機數 手織機	地	其他	計
		臺	臺			臺

織工 男	織工 女	織工 計	種	數量	價額	數量	價額	數量	價額
			紋織類(編珍綾子金襴等)	反	円	反	円	反	円
			縮緬類(白縮緬御召縮緬等)						
			羽二重類(羽二重、絽羽二重、綾羽二重)						
			斜子類						
			絹 絲織類(絲織綾絲織等)						
			平絹類						
			紹 透綾類						
			海氣類(海氣綾海氣等)						
			織 紬太織類						
			袴地類						

| 物 | | |

麻織物							
上布類	蚊帳地類	其他	部	其他ノ織物	毛織物（羅紗毛布「フラチル」二用掛等）價額	價額合計	

一機業戸數（機業ヲ業トスル工場機織ヲ營業トスル獨立營業者）及ヒ機數ハ其年十二月末日ノ現在ヲ記入スヘシ

一器械機トハ水力、汽力、瓦斯力等ニヨリテ運轉スル機械機織ヲ云フ此以外ハ凡テ（「ベッタレ」機ノ如キモ）手織機ト心得ヘシ

一其他ノ織物ノ欄ニハ段物ノ形體ヲ爲シテ前掲ノ部類ニ入ラサル織物ヲ記入スヘシ

一本表ニハ自家用織物ハ合算スヘカラス

一帶地ハ子供帶ハ男女トモ二本ヲ以テ一本ニ數ヘ女帶地半幅物ハ二本ヲ以テ一本トス

一匹ハ段ニ換算シ其他卷、本、枚、碼等ヲ以テ稱呼スルモノハ數量價額トモニ列載スヘシ

一本業ニ關スル一箇年ノ概況及ヒ將來ノ模樣ヲ略記スヘシ

疊表莫莚莞莚

（調査自明治何年七月一箇年 報告期翌年六月 翌年八月限）

自明治何年七月 至同 何年六月 一箇年

廳名

製造戸數				疊表					莫莚			
疊表莫莚業	莞莚業	疊表及莫莚兼業	計	備後	琉球	其他	計	數量	本間莫莚	莚莫莚	其他	計
				枚				價額				
				円								

輸出向莞莚

一製造戸數ハ其年十二月末日現在ヲ記入スヘシ

一莞莚一本トハ四十「ヤード」ヲ云フ

年報　第三十六表

陶磁器（調査毎年報告期翌年三月限）　明治何年調

何地	何地計	製造戸數	窯數				職工		
			登窯		錦窯	其他	男	女	計
			筋	間數					

廳名

製造品價額　円　円　円

一製造戸數及窯數ハ其年十二月末日現在ヲ記入シ職工ハ平常使用スル數（一月分ノ）ヲ記入スヘシ

一實用品何分裝飾品何分又ハ何々ノ類何分ト記シ一个年業務ノ概況ヲ備考トシテ記載スヘシ

年報　第三十七表

工產物雜類（調査毎年報告期翌年三月限）　明治何年調

	數量	價額	製造戸數	職工 男	職工 女	職工 計	備考
菜種油	石	円					
胡麻油							
荏油							
綿實油							
其他							
計							
生蠟	貫						
晒蠟							

廳名

| | | |

場票

資本金（會社名ノモノハ除ク）	經費金	收入金	製造品種	製造品代價	一ケ年間執業日數	一日就業時間	原動力 機關數	原動力 公稱馬力		職工一日一人ノ賃金 男	職工一日一人ノ賃金 女	日傭勞動人夫 男	日傭勞動人夫 女	徒弟人員 男	徒弟人員 女	徒弟人員 計
円				円						錢	錢					

一本票ハ工場所有主ノ會社タルト一個人タルトヲ問ハス職工十人以上ヲ有スル總テノ工場ニ通スルモノトス

一本票ハ一工場毎ニ雛形ノ通記入シ一票毎ニ番號ヲ附シ之レヲ一括シテ其封筒ニ總計何枚ト記スヘシ

一分工場ハ本工場ト區別スル爲ニ分工場ト記スヘシ

一製造品種ニハ往々了解シ難キモノアレハ其用途性質ヲ明ニ記スヘシ

一原動力ノ欄ニハ蒸氣力、水力電氣力、瀝力電氣力、水力瀝力併用電氣力、水力、瓦斯力、風力等ト記スヘシ

一職工及徒弟ハ平常使用スル數（一日ノ分）ヲ掲クルモノトス

一日傭勞働人夫ハ見通一日ノ人數ヲ記スヘシ（杜氏ノ如キハ職工トシ水汲及米搗ノ如キハ日傭勞働人夫トス）

一職工ノ賃錢ハ概略平均一人一日ノ賃錢ヲ掲クルモノトス（高低ニ拘ラス最モ多クノモノカ一日ニ受クル高ヲ記スルモノトス）

一執業日數ハ休業日ヲ除キタル一箇年中ノ日數ヲ記シ一日就業時間ハ平均何時間若シクハ夏ハ何時間冬ハ何時間ト記スヘシ

一鑛山、鑛物精錬所及釀造所等モ亦工場票ニ記入スヘシ

一本票用紙ハ厚紙ヲ用ヰ其ノ大サハ曲尺縱五寸五分横四寸五分トス

一日本形水車ハ機關數欄ニ日本形水車幾個ト記スヘシ

年報　第三十九表

漁船ノ一（調査毎年報告期翌年二月限）明治何年調　廳名

濱浦湖川名	同所屬郡名	五間以上	現在數 船數	現在數 概價	年內新造 船數	年內新造 概價	年內廢用 船數	年內廢用 概價	平均船齢
		五間未滿	現在數 船數	現在數 概價	年內新造 船數	年內新造 概價	年內廢用 船數	年內廢用 概價	平均船齢

漁船ノ二

濱浦湖 川名	同所 屬郡 名	三間未滿 現在數 船數	三間未滿 年內新造 概價	三間未滿 年內新造 船數	三間未滿 年內廢用 平均船齡	計 現在數 船數	計 年內新造 概價	計 年內新造 船數	計 年內廢用 平均船齡
			円		年月		円		年月
			円		年月		円		年月
計									

一現在數ノ欄ニハ其年十二月末日現在ノモノヲ記スヘシ

一新造ノ欄ニハ其年竣工ノモノヲ記スヘシ

一廢用漁船トハ漁用ニ堪ヘスシテ使用ヲ廢シタルモノヲ云フ但シ難破船ヲ加フヘカラス

一廢用漁船ノ平均船齡ハ其欄ニ記入スル各船ノ年齡ヲ合計シ船ノ總數ヲ以テ除シタルモノヲ掲クヘシ

又計ノ欄ニ記スル平均船齡ハ該欄ニ記入スル各船ノ年齡ヲ合計シ船ノ總數ヲ以テ除シタルモノヲ掲クヘシ上ノ三欄ニ記載シタル平均船齡ヲ平均スヘカラス

年報　第四十表

難破漁船（調査毎年　報告期翌年二月限）　明治何年調　廳名

遭難ノ場所	月日	遭難ノ種類	船數	乘組總員	乘組員中 死亡	乘組員中 負傷	乘組員中 死生不明	乘組員中 計	其他
		破壞							
		漂流							
		行先不明							
		轉覆							
		其他							

計								

一本表ハ船籍所在府縣ニ報告スヘシ

年報　第四十一表

漁獲物（調査期日毎年二月限ル）明治何年調　廳名

	濱浦湖川名 所屬郡名		濱浦湖川名 所屬郡名		計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
鰊	貫	円	貫	円	貫	円
鰛						
鰹						
烏賊						
柔魚（スルメイカ）						
鮪						
鮪						
鮫						
鱈						
鱒						
鰈						
鯛						
鰯						
鰤						
鰹						
鰻						
鰕						
海鼠						
鮑						
蛤						
牡蠣						
蛤						
貼貝（カヒ）						
昆布						

雜件

一本表ハ何方ニテ漁獲セシヲ問ハス所屬漁民ノ捕獲シタルモノヲ悉皆記スルモノトス

一何々トアル欄ニハ各地方ニ於ケル重要ナル漁獲物ヲ列記シ右側ニ假名ヲ附スヘシ次表モ亦之レニ同シ

一其ノ他ノ欄ニハ本表列記外ノ鹹水淡水産物ノ價額ヲ記スヘシ

年報　第四十二表

水産製造物（調査毎年　報告期翌年二月限）

明治何年調

廳名	數量	價格
		円
鰹		
海參		
乾鰒		
石花菜		
何々		
何々		
其他		
計		

乾鮑	田作	煮乾鰒	淡菜（ホシイカヒ）	鰹節	鮪節	干鰕	鱶鰭	鹽鰒	貝柱	鹽鯖	乾鯛	鹽鰈	鹽鮪	

鹽	鰹															
海	苔															
鰊	（粕目鯡）															
搾	粕（鰮）															
干ジ	鰮カ															
魚	油															
何	々															
何	々															
其	他															
雜	計															
		水産製造物（報告期年翌年四月五日ヨリ翌年三月マテ）														
		數	量													
惡	天															

明治何年調　廳名

		價	格													

年報　第四十三表

鹽（報告期年翌年一月限ル）　明治何年調　廳名

濱浦名	郡濱浦所屬名	鹽田段別	出鹽田高	產鹽濱出高	其他產額計	一石ニ付平均價額	竈數	營業人	延職工 總數	延職工 男	延職工 女
		町	石	石	石	錢					
計											

年報　第四十四表

水產養殖（報告期年翌年三月限ル）　明治何年調　廳名

	養殖場數	同面積	收獲高 數量	收獲高 價額	備考
鯉		坪	貫	円	
鼈					
牡蠣					
何々					

雜件

何々	
何々	
其他	
計	

一箇所及坪數ハ其ノ年十二月末日現在ヲ記スヘシ

一牡蠣ハ貝付ノ儘計算スヘシ

一何々ノ欄ニハ其地方ノ重要水産養殖物ヲ記入スヘシ

一備考欄ニハ各種ニ就キ其年中ノ概況ヲ記スヘシ

年報　第四十五表

遠洋漁業

（調査自明治何年七月一箇年　報告期至同何年六月一箇年）

廳名

漁獵種類	場所	季節	日本形船 船數	日本形船 乘組員	西洋形帆船 船數	西洋形帆船 乘組員	西洋形汽船 船數	西洋形汽船 乘組員	漁獲物價額
				人		人		人	円
計									

一遠洋漁業トハ房州沖ヨリ北海道方面或ハ露領沿海、朝鮮沿海、臺灣沿海ノ如キ遠隔海面ノ漁獵ヲ

謂フ

一場所ノ欄ニハ漁獵ニ從事セシ海面ヲ記スヘシ

年報　第四十六表

森林植栽

（國有林及御料林部分林ヲ除ク）（調査毎年　報告期翌年三月限）

明治何年調

廳名

	面積	植栽費
	段 本	円
扁柏（ヒノキ）		
羅漢柏（ヒバ）		
杉		
松		
樟		
樫（カシ）		
栗		
欅		
楤（クヌギ）		

森林伐採ノ一（國有林御料林及部分林ヲ除ク）木（調査毎年報告期翌年三月限）　明治何年調

樹種	用材 尺	用材 價格	薪炭材 棚	薪炭材 價格
何々				
何々				
計				
扁柏				
羅漢柏				
針葉樹 杉				
針葉樹 松				
針葉樹 其他				
針葉樹 計				
樟				
櫧				
濶葉樹 栗				
濶葉樹 櫟				
濶葉樹 其他				
濶葉樹 計				
雜木				
合計				

一何々トアル欄ニハ其地方ノ重要ナル樹木ヲ記スヘシ次表モ亦之ニ同シ

一補植ハ面積ノ欄ヲ天然下種ハ數量ノ欄ヲ省キ其他ハ本表ニ準シ別表ト爲スヘシ

一雜木トハ主ニ薪炭材トナスヘキ混淆ノ樹木ヲ謂フ

一一棚トハ百〇八立方尺（六、六、三）トス然レトモ民林所有者ヨリ報告セシムルニハ其地方慣習ノ棚又ハ束ヲ以テシ之ヲ改算シテ表ニ掲クルヲ便トス

一價額ハ凡テ山元相場ヲ以テ計算スヘシ

森林ノ伐採及被害ノ二（竹）

數量	價額	被害 數量	被害 價額

苦竹	淡竹	江南竹	何々	何々	何々	何々	計

一束ノ繩ヲ（例令ハ三尺繩ヲ四尺繩ヲノ如シ）ヲ備考ニ記入スヘシ

年報　第四十八表

害蟲驅除豫防表（害蟲名）　明治何年調

市町村名	被害大字名	害物ノ種類	同上農作積反別	同上見此収穫高	平年被害ニ付見積減収高	驅除豫防ニ係ル市町村費	同上夫役ノ數	同上賦税補助費					計

一本表ハ將校下士兵卒ニ區分シ下士ハ朱書ニ兵卒ハ墨書シ將校ハ備考欄ヲ設ケ何村ニ歩兵大尉一何町ニ一等軍醫一ト各町村毎ニ之ヲ明記ス

一本表ニ掲記スル者ハ本籍者ニ限ル

年報　第五十二表

第一號　本籍人口族稱別（毎五年調）　縣郡市町村名　明治何年十二月三十一日現在　廳名

族稱	戶主			家族			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
華族									
士族									
平民									
總計									

第一號表ハ毎五年十二月三十一日ヲ期トシ其ノ市町村内ニ本籍ヲ有スル者ノ同日ニ於ケル現在數ヲ翌年一月三十一日マテニ戶籍簿ニ記載セラレタル所ニ依リ調査記入スルモノトス

年報　第五十三表

本籍人口有配偶者無配偶者生年別（毎五年調）　縣郡市町村名　明治何年十二月三十一日現在　廳名

生年	有配偶			無配偶			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
明治三十一年生									
同三十年生									
同二十九年生									
生年不詳									
總計									

本表ハ毎五年十二月三十一日ヲ期トシ其ノ市町村内ニ本籍ヲ有スル者ヲ生年ヲ分チテ翌年一月三十一日マテニ戶籍簿ニ記載セラレタル所ニ依リ調査記入スルモノトス

生年ハ其調査ノ年ヲ首トシ以上年次ヲ逐ヒ例ヘハ明治三十一年十二月三十一日調ニ於テ明治三十一年生ノ者アルトキハ明治三十一年生トシ之ヲ首トシテ同三十年同二十九年乃至慶應元治文久等ニ遡リ年號何年生ト列記シ其ノ生レタル年ニ從ヒ記入シ最後ニ生年不詳者ヲ記入スルモノトス但シ總計ノ行ニ於ケル有配偶者ノ男數ト女數トハ同數タルコト勿論其ノ合計ノ三欄ニ記入スル數ハ第一號表總計ノ行ノ合計ノ三欄ニ記スル數ト符合セシムルコトヲ要ス

年報　第五十四表

第三號　市町村出入人口及現住戶數（毎五年調）　縣郡市町村名　明治何年十二月三十一日現在　廳名

種別	男	女	合計

出入別										
他へ出										
他市町村へ出寄留（本項ニハ次ノ四項ノ者ヲ除ク）	陸海軍在營艦兵卒	囚人懲治人	在臺灣	在外國	總計	本市町村へ入寄留	本市町村本籍人口	出入差引本市町村ニ於ケル現住人口	現住戸數	

第三號表出入別ハ毎五年十二月三十一日ニ於ケル本市町村ノ本籍人ノ内出寄留其ノ他ニテ本市町村外ニ在ル者ト本市町村内ニ本籍ヲ有セサル者ニシテ本市町村内ニ入寄留ノ者トノ數ニシテ翌年一月三十一日マテニ知ルコトヲ得タルモノヲ調査記入スルモノトス

他ヘ出ノ部他市町村ヘ出寄留ノ項ニハ其ノ市町村ニ本籍ヲ有シ道府縣管轄ノ内外ヲ問ハス總テ他ノ市町村ニ居住セルモノヽ數ヲ記入スルモノトス

本市町村本籍人口ハ第一號表ノ總計ノ行ニ記入スル合計ノ三欄即チ男、女、計ノ各數ト同一ノモノ

ナルニ依リ其ノ數ヲ本行各欄ニ記入スルモノトス

出入差引本市町村ニ於ケル現住人口ハ本市町村本籍人口ニ本市町村ヘ入寄留ノ數ヲ加ヘ他ヘ出トアル總計ノ行ノ數ヲ引去リテ得タル數ヲ記入スルモノトス

右出入別ハ寄留簿又ハ其ノ他各市役所町村役場ニ備フル精確ナル簿冊若ハ書類ニ依リ調査記入スヘシ其ノ寄留簿ニ依ラサルモノハ各項ニ就キ何ノ簿冊又ハ書類ニ依レルカヲ必ス表末ニ附記スヘシ

現住戸數ハ毎五年十二月三十一日ヲ期トシ本籍人タルト非本籍人タルト又戸籍上戸主タル者ト戸主タラサル者トヲ問ハス總テ其ノ地ニ現住シテ一世帶ヲ爲ス竈數ヲ翌年一月三十一日マテニ知リ得タル所ニ依リ調査記入スルモノトス但シ官舍、社寺、學校、病院、製造所等ノ構内ニ住居スルモ別ニ一竈ヲナス者ハ又一戸トシテ之ヲ調査記入スルモノトス

右現住戸數ハ寄留簿租税ニ關スル諸帳簿其他精確ナル帳簿又ハ書類ニ依リ若ハ實地ニ就キ調査スヘシ但シ成ルヘク詳細ニ調査ノ方法ヲ表末ニ記入スヘシ

第五十五表

就除籍國籍得喪失踪等（毎年調）　縣郡市町村名　明治何年　廳名

種別	男	女	合計
無籍者就籍			
國籍取得者			
失踪宣告ヲ取消サレタル者			

複本籍者除籍	國籍喪失者	失踪宣告ヲ受ケタル者

本表ハ毎年其ノ年中ノ事實ニシテ翌年一月三十一日マテニ知ルコトヲ得タルモノヲ調査記入スルモノトス國籍得喪者及失踪宣告ヲ受ケタル者又ハ取消サレタル者ハ身分登記簿ニ就キ就除籍ハ戸籍簿ニ就キ調査記入スルモノトス

第五號

送附目錄

一第一號表　何通
一第二號表　何通
一第三號表　何通
一第四號表　何通
計　何通

右及送付候也

年　月　日

縣廳宛

郡役所名

年報　第五十六表　（用紙美濃紙半切）

鑛物砂鑛製錬表　明治何年調

廳名

製錬工場位置	製錬人 住所氏名	鑛物 種別	鑛物 越高	鑛物 買入高	鑛物 製錬ニ附シタル鑛物高	鑛物 殘高	製品 種別	製品 越高	製品 製出高	製品 販賣數量	製品 販賣代價	製品 殘高	記事

一種別ノ欄ニハ越高以下各欄ニ記入スヘキ鑛品、製品ノ各種類ヲ列記スヘシ

一鑛品ハ貫ヲ單位トシ製品ノ內金、銀ハ匁其ノ他ハ斤ヲ單位トス但シ鑛品製品ノ區別ナク鐵類ハ貫石油ハ升ヲ單位トス

一砂鑛ヲ製錬スル場合ニ於テハ自己ノ採取セルモノト買入レタルモノトヲ問ハス同一ニ買入高ノ欄ニ記入スヘシ

一鑛業條例ニ所謂鑛業人ト雖買入鑛物ニ係ル分ハ總テ本表ニ記入スヘシ

年報　第五十七表

何年度縣稅滯納處分報告表

何郡役所

稅目		督促狀ヲ發シタルモノ	財產ノ差押ヲ爲シタルモノ	處分決行徵收セシモノ	稅金缺損ノモノ	翌年度ニ繰越ノモノ
地租割	稅額					
	人員					
營業稅	同					
	同					
何々	同					
	同					
何々	同					
	同					
合計	同					
	同					
備考						

一　會計年度ニ依リ翌年度七月末日迄ニ處分セシ結果ヲ掲クルモノトス

二　一人ニシテ二稅以上ノ稅金ヲ滯納セシ者アルトキハ其ノ一方ノ人員ヲ墨書シ他ハ朱書スヘキモノトス

三　年度內ニ處分完結ニ至ラスシテ翌年度ニ繰越タルモノハ翌年度報告ノトキ別表ニ調製シ追報告スヘシ但シ其ノ第三欄ハ前年度ヨリ繰越ト記載スルモノトス

四　滯納處分ノ囑托ヲ爲シテ徵收シタルモノアルトキハ相當欄ヘ合記シ尙ホ其ノ稅額人員ヲ備考ニ附記スヘシ

年報　第五十八表

賣藥諸賣及行商員數表　明治何年關

廳名

種別	前年末現在數 人員	前年末現在數 方數	本年內免許數 人員	本年內免許數 方數	本年內廢業數 人員	本年內廢業數 方數	本年末現在數 人員	本年末現在數 方數
諸賣								
行商								
合計								

年報　第五十九表

北海道移住民渠車渠船賃割引券受拂表（甲）　明治何年分

廳名

受		拂	
前年ヨリ越高		本年中下附高	
本年中受高		書損損傷其ノ他棄却高	
		現在高	
合計		合計	

年報 第六十表

北海道移住民漁車漁船賃割引券下附表（乙） 明治何年分 廳名

移住國郡名	區別	農業	漁業	工業	商業	其他	計
	甲						
	乙						
	同						
	同						
	同						
	同						
	同						
合計	同						

記載例

一 表中區別ノ部（甲）ハ移住前ノ現業（乙）ハ移住目的ノ職業トス各欄ニ該當人員ヲ掲記スヘシ

二 本表合計末欄ノ（甲）及（乙）ノ人員ハ各相吻合シ且受拂表拂ノ部本年中下附高トモ吻合スルヲ要ス

年報 △第六十一表

郡參事會員及常設委員（明治何年十二月三十一日現在） 廳名

職名	人員	手當金 年額	手當金 月額	手當金 日額
郡參事會員				
常設委員				
合計				

一 兼掌ノ者ハ人員手當金トモ朱書ヲ以テ別項ニ掲載スヘシ但シ手當金ヲ受ケサル者ハ表中ニハ別ニ掲載スルニハ及ハス欄外ヘ何ヨリ何ヲ兼ヌルモノ何人ト附記スヘシ

一 手當金ハ年額、月額、日額等各其ノ支給方ノ規定ニ依リ掲載スヘシ但シ同一職員ニシテ支給方ノ異ナルモノ二種以上アルトキハ各其ノ人員及手當金ヲ區別シテ掲載スヘシ

一 郡費支辨ニ係ル事業ニ從事セシムル爲備入レタルモノハ雇ノ類（技術員又ハ日給、月給ノ類）アレハ本表欄外ヘ事業ノ名稱人員及支給金額ヲ附記スヘシ

年報△第六十二表

何々電氣鐵道株式合資會社ノ一合名

明治何年何年度分（翌年五月末日限送付）

廳名

株主人員			
株數			
資本金			
拂込資本金			
積立金（自創業至明治何年又ハ何年度末）			
興業費（同上）			
收入金	前期繰越金	圓	支出金
	乘客賃		營業費
	何々		社費
			何々
	合計		合計
			差引益金
			割賦金
			積立金
			役員賞與金
			後期繰越金
			合計

備考

一本表決算時期會社ニ依リ會計年度或ハ暦年又ハ特ニ定メタルモノハ總テ其ノ會社ノ決算期ニ依リヲ記載スヘシ次表モ之ニ同シ

一株式會社ニ非ラスシテ合資又ハ合名會社ナルトキハ株主人員ヲ出資社員數ニ改ムヘシ

一株主人員ヨリ積立金ニ至ル五項ハ年末（年度末）ノ現數ヲ掲クヘシ

一上欄ノ積立金ハ創業ヨリノ積算額ニ其ノ年（年度末）ノ積立金ヲ合算シタルモノヲ掲クヘシ

一興業費ハ鐵道線路車輛機械土地家屋等ノ如キ建設ノ爲メ要セシ一切ノ費目ヲ總稱スルモノニシテ創業以來ノ總額ヲ記入スヘシ但シ同費中ヘ消却セシ金額アラハ表尾ニ其ノ金額ヲ明記スヘシ

一收入及支出金ハ何年何月ヨリ何年何月ニ至ル一ヶ年間ノ總數ヲ掲クヘシ

同上ノ二

明治何年何月末日調（同上）

區域	線路長	線路延長
	里丁間	里丁間
總計		

一表中區域ノ欄ニハ會社ニ於テ定メタル停車場ヲ記載スヘシ

乘客數（一年又ハ一年度間）

經過里數（一年又ハ一年度間）

消費石炭數量（一年又ハ一年度間）

車輛（年末又ハ年度末現數）

年報△第六十三表

第一號漂流物及沈沒品件數表

明治何年分

廳名

事項＼物件	漂流物	沈沒品	合計

取扱件數		物件ノ價格		所有者ニ引渡シタル件數	拾得者ニ引渡シタル件數	水難救護法第二十八條第三項ニ依リテ公賣シタル件數	拾得者ニ支給シタル分一金額	公告、保管、公賣、評價ノ費用	國庫ノ取得ト爲リタル金額	國庫ヨリ補給ヲ受ケタル金額	第二號漂流物及沈沒品件數表　明治何年分　廳名		
前年度越高	本年度受付	前年度越高	本年度受付								事項	物件	漂流物 沈沒品 合計
											取扱件數	前年度越高	

本年度受付	所有者ニ引渡シタル件數	水難救護法第三十條ニ依リ公賣ヲ爲シタル件數	取除、保管、公告、公賣ノ費用	國庫ノ取得ト爲リタル金額	國庫ヨリ補給シタル金額

備考

第二號表ニハ水難救護法第二十九條及第三十條ニ依リテ取扱ヒタルモノノミヲ記入シ第一號表ニハ第二號表ニ記入セサルモノヲ記入スヘシ

年報　第六十四表

何市町村高等小學校生徒調査表　明治何年　廳名

種別	男	女	合計
本年高等小學校卒業ノ者			
高等第一學年			

年報△第六十五表

北海道移住民員數　明治何年　何郡市役所

郡市名	割引券ヲ受ケタル者 男	割引券ヲ受ケタル者 女	割引券ヲ受ケサル者 男	割引券ヲ受ケサル者 女	移住證明下付數
合計					

一割引券ヲ受ケタル者ハ其ノ本籍ニ割引券ヲ受ケサル者ハ其ノ現住郡市名ノ下ニ記入スヘシ

一移住證明下付數ハ一個人ハ其ノ本籍ニ團体ハ總代人ノ本籍郡市名ノ下ニ記入スヘシ

等小學校在籍者	第二學年	第三學年	第四學年	合計

年報△第六十六表

某川流域（又ハ何湖水、何池沼湖）水害（又ハ海嘯噴火ノ被害、風、雪、震災等）表（明治何年）應名

（發送期日翌年一月三十一日）

年報	名稱	單位	員數	損失價額
河 堤防 決潰	箇所	同		圓
河 堤防 缺損	同	同		
河 堤防 計	同	同		
河 護岸 流失崩潰	同	同		
河 護岸 缺損	同	同		
河 護岸 計	同	同		
河 護岸工ヲ施ササル河岸ノ崩潰缺損	同	同		
河 水制 流失崩潰	箇所	同		
河 水制 缺損	同	同		
河 水制 計	同	同		
河 閘門 破損	同	同		
河 樋管 破損	同	同		
河 砂防設備施工地 諸連束工及苗木植付地	箇所	同		
河 砂防設備施工地 根石垣崩潰流損	箇所	同		
河 砂防設備施工地 堰堤及床堅メ崩潰流損	箇所	同		
河 砂防設備施工地 計	箇所	同		
川 浚渫 立坪	箇所	同		
川 何々	同	同		
川 小計	同	同		
川 堰堤 破損	箇所	同		
川 閘門 破損	同	同		

名稱	單位	員數	損失價額
疏			
隧道破損	箇所		圓
堤防 決潰	箇所		
堤防 缺損	同		
堤防 計	同		
護岸 流失崩潰	同		
護岸 缺損	同		
護岸 計	同		
護岸工ヲ施ササル沿岸ノ崩潰缺損	同		
導水橋破損	箇所		
排水所破損	同		
樋管破損	同		
浚渫	立坪		
何々			
水道			
縣道			
道路 埋沒決潰	箇所		
道路 毀損	同		
隧道破損	同		
左右 湯拔破損	同		
橫切 暗渠損	同		
計	同		
並木流失傷損	本		
里道			
道路 埋沒決潰	箇所		
道路 毀損	同		
隧道破損	同		
左右 湯拔破損	同		
橫切 暗渠破損	同		
計	同		
並木流失傷損	本		

名稱	單位	員數	損失價額
小計			
池			
堤防 決潰	箇所		
堤防 缺損	同		
堤防 計	同		
護岸崩潰缺損	同		
護岸工ヲ施ササル沿岸ノ崩潰、缺損	同		
何々			
小計			
道路（橋梁クヲ除）			
國道 道路 埋沒決潰	箇所		
道路毀損	同		
隧道破損	同		
左右 湯拔破損	同		
橫切 暗渠破損	同		
計	同		
並木流失傷損	本		
電車	箇所		
馬車	同		
人車	同		
何々	同		
計	同		
軌道敷損傷			
電車	箇所		
馬車	同		
人車	同		
何々	同		
計	同		
軌道破損			
電車	同		
馬車	同		
人車	同		
何々	同		
計	同		
橫切 暗渠破損	同		
並木流失傷損	本		
計	同		
橋梁クヲ除			
何々			

名稱	單位	員數	損失價額
小計			圓
橋梁			
國道			
墜落流失	箇所		
毀損	同		
計	同		
縣道			
墜落流失	同		
毀損	同		
計	同		
里道			
墜落流失	同		
毀損	同		
計	同		
小計	同		
水道			
堰堤破損	箇所		
引水所破損	同		
導水溝破損	箇所間		
諸池破損	箇所		
水管破損	箇所間		
栓又ハ桝破損	箇所		
何々			
小計			
下水			
大下水破損	間		
並下水破損	同		
小計	同		
線路破損	哩		

名稱	單位	員數	損失價額
港灣及海岸			
防波堤決潰、缺損	箇所間		
海岸堤防決潰、缺損	同同		
護岸崩潰缺損	同同		
機橋流失破損	箇所		
砂防工事破損			
何々			
小計			
溜池及用惡水路			
堰堤破損	箇所		
樋管破損	同		
溜池堤防及護岸決潰缺損	箇所間		
水路破損	同同		
何々			
小計			
鐵道			
軌道破損	同		
橋梁			
墜落流失	箇所		
毀損	同		
コルベルト破損	同		
隧道崩潰	同		
護岸流失、崩潰	同		
水制流失、崩潰	同		
保壁破損	同		
波戸破損	同		
道土留破損	同		
樋管破損	同		
官設（クワ）除社用電信及電話線破損	間		
停車場及構内建物			
流失	棟		
破損	同		

名稱	單位	員數	損失價額
鐵道（官設ノ除クヲ）			
機關車、客車、貨車ノ沈沒、破壞			
何々	輛		
小計			
通計			
國庫金ニ於テ維持スルモノ			
縣稅（又ハ地方費）ニ於テ維持スルモノ			
郡市區町村費以下ニ於テ維持スルモノ			
計			
人			
死亡	男女		
負傷 重傷	同		
負傷 輕傷	同		
行衛不明	同		
事 小計	同		
田			
流失埋沒段	段		
年季荒	同		
浸（又ハ浸潮）水 其年ノミ收穫皆無	同		
浸（又ハ浸潮）水 損失無キ浸水	同		
計			
米	石		
麥	同		
生毛ノ流失埋沒、腐敗 其他ノ諸作物			
小計			
浸（又ハ浸潮）水 其年ノミ收穫皆無	同		

名稱	單位	員數	損失價額
建			
流失	棟戶		
崩潰	同		
半潰	同		
破損	同		
住家浸水（又ハ浸潮） 損失無キ浸水 床上	同		
住家浸水（又ハ浸潮） 損失無キ浸水 床下	同		
計	同		
流失	棟		
崩潰	同		
半潰	同		
破損	同		
非住家浸水（又ハ浸潮） 損失無キ浸水 床上	同		
非住家浸水（又ハ浸潮） 損失無キ浸水 床下	同		
計	同		
小計			
畑			
損失無キ浸水	同		
計			
米	石		
麥	同		
生毛ノ流失埋沒、腐敗 其他ノ諸作物			
小計			
宅地			
埋沒、崩潰	段		
浸（又ハ浸潮）水 損失無キ浸水	同		
小計			
森林山野地（河川砂防設備ヲ除クヲ）			
埋沒、崩潰	段		
浸（又ハ浸潮）水 損失無キ浸水	同		
小計			

名稱	單位	員數	損失價額
雜種地 浸（又ハ浸潮）水 損失無キ沒 小計	段		
雜種地 埋沒、崩潰 小計	同		
貯藏又ハ年內收穫ノ諸作物 流失、埋沒、腐敗 米	石		
貯藏又ハ年內收穫ノ諸作物 流失、埋沒、腐敗 麥	同		
貯藏又ハ年內收穫ノ諸作物 流失、埋沒、腐敗 其他ノ諸作物 小計			
家畜 斃 牛	頭		
家畜 斃 馬	同		
家畜 斃 羊	同		
家畜 斃 豚	同		
家畜 斃 小計	同		
船舶 西洋形 流失、沈沒	隻		
船舶 西洋形 破損	同		
船舶 西洋形 計	同		
船舶 小計	同		
其他ノ諸損害			
通計			
總計 第一類			
總計 第二類			
總計 第三類			
總計 第四類			
總計 計 流域內			
總計 計 流域內譯 流域外			

名稱	單位	員數	損失價額
船舶 日本形 流失、沈沒	隻		
船舶 日本形 破損	同		
船舶 日本形 計	同		

被害町村數及汎濫面種

市郡名	被害町村數 大字有ル町村	大字無キ町村	大字	市郡名	汎濫面積 流域內	流域外	計
某郡 流域內				某郡			
某郡 流域外				某市			
某市 同				計			
同 同							
計							

提要

一本表ハ一箇年間ニ於ケル管内各地水害ノ狀況ヲ調査シ各河川流域毎ニ製表スルモノトス但シ河川流域ニ屬セサル疏水、池沼湖等ニ於ケル水害又ハ海嘯、噴火被害又ハ風、雪、震災又ハ降雨ノ爲溝渠汎濫山岳崩潰シ其他湛水等ノ爲メ被害アリシトキモ亦本表ノ式ニ倣ヒ各別表ニ調製スヘシ

一流域トハ某河川ノ左右ニ於ケル山地平地ニ降下スル雨水ノ同川ニ流入スル全區域ヲ謂フ

一單川ニ非ラサル河川ノ水害表ニハ幹川ハ勿論支派川、小支派川、疏水、池沼湖等其流域内ニ屬スル一切ノ水害高ヲ合算表記スルモノトス但シ支派川等ニ大水害アリシ場合ハ之ヲ摘出シテ別表ニ製シ河川名ノ下ニ「河川支派再掲」ト記入スヘシ

一一ノ河川ニ出水アリテ他ノ河川流域内ニ波及シタル場合ニハ他川流域ノ分ヲモ合算シテ製表シ二河川以上同時ニ出水シタル場合ニハ各流域内ノ分ノミヲ區別シテ別表ニ調製スルモノトス

一一流域内何レカノ一川ノミニ水害アリシ場合又ハ單川ナルトキハ其一川ノミノ事實ヲ掲記シ表題名ヲ左ノ如ク記スヘシ

幹川ノミノ被害ナレハ「某川流域内幹某川水害表」

支川ノミノ被害ナレハ「某川流域内支某川水害表」

派川ノミノ被害ナレハ「某川流域内派某川水害表」

單川ノ被害ナレハ「某川水害表」

一河川堤防ノ項ニハ疏水、用悪水、水道等ヲ開鑿セシ爲メ築造シタルモノヲ除キ本堤、控堤等河川ニ專屬スル諸堤ノミヲ記入スヘシ

一護岸工ヲ施ササル河岸ノ崩潰、缺損ノ項ニハ沿岸崩潰、缺損ノ爲メ新ニ護岸工ヲ施スノ必要ヲ生シタルモノノミヲ掲記スルモノトス

一護岸、水制ハ調査上ノ便宜ニ依リ内譯ヲ枠何箇所、蛇籠何箇所、聖牛何箇所等ト各種類ニ區別スルヲ妨ケス但シ護岸ノ分ニハ間數ヲモ併記スルモノトス

一護岸、水制等ニシテ私設鐵道敷設上ノ必要ニ依リ施行シタルモノノ被害ハ表中鐵道欄ニ掲記スヘシ

一閘門、樋管ノ類ハ單ニ河川ニ屬スル逆水留樋管等ヲ河川ノ項ニ掲ケ疏水、用悪水、水道、下水、等ノ引入口又ハ排出口ニ設置シタルモノハ各其所屬ニ從ヒ掲載スヘシ

一河川、疏水等ノ埋沒セシ爲生シタル損失ハ例之ハ河口若クハ合流口等ヲ土砂ノ爲メ壅塞セラレ浚渫工事ヲ行ハサレハ上流ニ湛水スルノ恐レアリ又ハ埋沒ノ箇所ヲ直ニ浚渫セサレハ船舶ノ通航ヲ杜絶スルノ類ニシテ最モ急要ナル浚渫費ノミヲ調査スルモノトス但シ排水又ハ航路開通ノ爲施行スルモノト雖モ單ニ復舊スルニ止マリ漸々停留セシ河底ノ土砂ヲモ併テ浚疏スルカ如キ費用ヲハ混同スヘカラス

一疏水欄ニハ運河、堀川、濠渠等人工ヲ以テ開鑿セシ水路ニ係ルモノヲ掲記スヘシ

一道路ノ欄道路決潰、埋沒及道路毀損ノ項ニハ隧道、溝渠等ノ損害ヲ除キ重復セシメサルヲ要ス

一道路ノ欄軌道ニ關スルモノハ明治二十三年八月法律第七十一號軌道條例ニ依リ敷設セシモノ及同條例發布以前内務省ノ認可ヲ得テ敷設シタルモノノ被害ヲ掲記スルモノトス

一軌道數損傷ノ欄ニハ軌道專用ノ爲築造セシ道路ノミノ損失ヲ掲クヘシ

一橋梁ノ欄ニハ長六尺以上ノモノ及土厚三尺以下ノ土橋ノミヲ掲載スヘシ

一下水欄大下水ノ項ニハ上口平均幅五尺以上ノモノ鐵管、土管等ナレハ內徑三尺以上ノモノヲ掲クヘシ

一下水ニシテ道路ノ濕拔溝ヲ兼ヲ濕拔溝ニシテ下水ヲ兼ヌルモノハ道路ノ部ニ掲出シ下水欄ニハ記載セサルモノトス

一鐵道ノ項ニハ明治三十三年三月法律第六十四號私設鐵道法ニ依リ敷設シタルモノノ被害ヲ掲クヘシ但シ鐵道ニ係ル死傷者ハ人事ノ部ニ掲クス便宜鐵道ノ部ニ一欄ヲ設ケテ記入スルモ差支ナシ

一河川以下鉄道ニ至ル迄ノ通計內譯中郡市區町村以下ニ於テ維持スルモノハ出來得ル限リ之ヲ郡費ノ分ト、市區町村稅ノ分ト、水利組合費ノ分ト、協議費ノ分ト、私人ノ分トニ區別シ掲載スヘシ

一死亡、負傷トモ水害當時ノ事實ヲ掲ケ減水後數日ヲ經テ負傷者ノ死亡セシモノハ死亡トシテ記載スヘカラス

一死亡、負傷ノ欄ニハ住家非住家ノ流失崩潰、山岳丘陵ノ潰崩、堤防ノ破壞、橋梁ノ流失其他水防中ニ係ル出來事等避クヘカラサル事故ニ原因セシ死傷者ノミヲ掲ケ出水ノ際捕魚採藻又ハ他人ノ流失物ヲ惡意ニ拾得セントシテ誤テ死傷セシモノノ類ハ掲記セサルモノトス

一建物住家浸水ノ項戶ト戶ハ一世帶即チ竈數ヲ謂フ

一建物非住家浸水ノ項ニハ倉庫、工場、機械場、神社、佛堂、學校等其他家屋ノ体裁ヲ具ヘタルモノニシテ常住セサル建物ヘ浸水セシ棟數ヲ掲クヘシ但シ停車場及構內建物ハ鐵道ノ項ニ掲クルモノトス

一田畑、宅地等ノ被害面積ニシテ一段ニ滿タサルモノアリシトキハ其端數ヲ步位ニ留メテ掲出スヘシ

一田畑ノ項浸水地所ニ係ル損失價額中ニハ、其年ノ生毛損耗高ヲ除キ重復セシメサルヲ要ス

一田畑生毛ノ流失、埋沒、腐敗ノ項ニハ未タ取入レサル諸作物ノ損耗高ノミヲ掲クヘシ但シ米麥ノ外地方ノ特產物ハ可成各別ニ調査記入スヘシ

一田畑等ノ段別ヲ以テ記載スルモノニシテ數回ノ被害アリシトキハ員數及損失價額トモ之ヲ累算シテ掲載スルコト

一鹽田、海產場又ハ山葵澤等ノ損害ハ雜種地ノ項ニ記載スヘシ

一噴火、風、雪、震災等ノ諸表ニハ建物、田、畑、宅地、森林、山野地ノ欄ニ於ケル浸水ノ文字ヲ剝リ被害ノ戶數、棟數、段別ノミヲ掲クヘシ

一其他ノ諸損害ノ欄ニハ家具、機械、貨幣、紙幣及兌換銀行劵、鑛物、木材其他既製未製ノ諸商品ノ流損ニ係ルモノニシテ他ノ各項ニ該當セサルモノ悉皆ヲ掲出スヘシ

一總計中第一類トハ堤防破壞又ハ堤上超流ノ爲メ生シタル損失ヲ謂ヒ、第二類トハ堤防ノ設ケアレトモ築流シ堤等ニシテ逆水浸入ノ爲生シタル損失ヲ謂ヒ、第三類トハ堤外地ニ於ケル損失ヲ謂ヒ、

第四類トハ全ク洪水防禦ノ設備無キ地ニ於ケル損失ヲ謂ヒ、流域外トハ洪水區域中他川流域ニ屬スル部分ヲ謂フ但シ水害ニ非ラサル其他ノ災害表ニハ右ノ區別ヲ要セス

一被害町村數及汎濫面積ノ欄中流域内外ノ區別ハ水害ニ非ラサル他ノ災害表ニハ之ヲ要セス

一被害町村數及汎濫面積ハ同一箇所ニ再度以上ノ被害アルモ一箇所トシテ調査シ重復ヲ避クヘキコト

一河川以下鐵道ニ至ル損失價額中土木工事ニ關スルモノハ總テ其再築見積價格ヲ記入スヘシ

一雨水ノ爲崖地崩潰セシモノハ公費ヲ以テ復舊ヲ要スルモノノ外記入スルニ及ハス

一損失價格ハ圓ヲ以テ單位トシ圓以下四捨五入計算スヘシ

一提要ノ欄記載方左ノ如シ

一支派川及池沼湖等ヲ有スル河川ニシテ二川以上水害アリシ時ハ其支派川名、池沼湖名等ヲ掲記スヘシ但シ管内ニ同名稱ノ河川アルトキハ各名稱ノ下ニ所在地名ヲ詳記スヘシ

一降雨、霧雨、起風、收風ノ日時並ニ風ノ方向、出水ノ初期、最高水位ノ日時及高（平水位以上）並其塲所名、平水ニ復セシ日時、堤防缺壞若クハ堤上超流ノ日時並ニ箇所名、汎濫ノ廣袤其他洪水防禦ノ爲ニ土地ヲ使用シ土砂、竹木其他ノ材料、馬車其他ノ運搬具及器具ヲ使用シ又ハ夫役ヲ供セシメ障害物破毀等ノ景況等參考上必要ノ件ヲ水害毎ニ記載スヘシ但シ海嘯、噴火ノ被害及風、雪、震災表等ニハ災害ノ日時及其ノ方面ニ於ケル全體ノ觀察ヲ畧述シ若シ同地方ニ二回以上ノ災害アリシ塲合ニハ其情況及損失額トモ各別ニ記載スヘシ

年報　△第六十七表

土木費總計表（明治何年度決算）

（發送期日翌々年三月三十一日）

廳名

類別	郡（又ハ市若ハ區）事業						町村事業						
	郡又ハ市若ハ區費	國庫金補助	縣税補助	寄付	計	町村税	區費補助	縣税補助	郡費補助	水利組合費補助	寄付	計
通常土木費												
新築改築工事（又ハ除却工事）之部												
河川												
某川												
幹 某川												
支 某川												
同 某疏水												
小支 某川												
同 某運河												
支川ノ派流（又ハ何々） 某川												
派 某川												
同 某川												
某堀川												

類別		郡（又ハ市若ハ區）事業						町村事業						
		郡又ハ市若ハ區費	國庫金補助	縣税補助	寄付	計		町村税	國庫金補助	縣税補助	郡費補助	水利組合費補助	寄付	計
河川	小派川						圓							圓
河川流域	同某川						圓							圓
	某川（派川ノ支流又ハ何々）						圓							圓
	某池（沼、湖、潟、浦）						圓							圓
	何々						圓							圓
	計						圓							圓
川	某川（支派川等ヲ有セサル者）						圓							圓
	何々						圓							圓
	各河川ニ區別シ能ハサル諸費						圓							圓
	小計						圓							圓
疏水	某疏水						圓							圓
運河	某運河						圓							圓
堀川	某堀川						圓							圓

雜件														
水川	某川													
河川流域ニセルモノ	某堰渠													
河川流域ニセルモノ及溜池非ニサルモノ	何々													
	各疏水ニ區別シ能ハサル諸費													
	小計													
池沼湖	某池													
	某沼													
	某湖													
	某潟													
	某浦													
	何々													
	小計													

類別	郡（又ハ市若ハ區）事業					町村事業					
	郡又ハ市若ハ區費	國庫金補助	縣税補助	寄付	計	町村税	國庫金補助	縣税補助	郡費補助	水利組合費補助	寄付	計
道路												
國道 第何號線	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
國道 第何號別路線												
國道 何々												
國道 各路線ニ區別シ能ハサル諸費 計												
縣道 某街道												
縣道 某往還												
縣道 自某至某處												
縣道 何々												
縣道 各路線ニ區別シ能ハサル諸費 計												
里道 重要里道 何街道												
里道 重要里道 自某處至某處												
里道 重要里道 何々												

| 道橋（橋梁ヲ除ク） | | | | | | | | | | | |

類別		郡（又ハ市若ハ區）事業				町村事業					
		郡又ハ市若ハ區費	國庫補助金	縣税補助	寄付	計	町村税	國庫補助金	縣税補助	郡費補助	水利組合費補助	寄付	計
用水	某町	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
惡水	某村												
小計													
水道	某水道												
上水	某上水												
道路	何々												
小計													
下水	某町												
某村													
小計													
何々													
各工事ニ類別シ難ハサル諸費													

合計	
修繕工事之部	
記載方總テ新築改築工事之部ニ同シ	
雜支出之部	
記載方總テ新築改築工事之部ニ同シ	
通常土木費通計	
災害土木費	
新築改築工事之部	
記載方總テ上表ニ同シ	
復舊工事之部	
記載方總テ上表ニ同シ	

類別	郡（又ハ市若ハ區）事業						町村事業						
	郡又ハ市若ハ區費	國庫金補助	縣税補助	寄付	計		町村税	國庫金補助	縣税補助	郡費補助	水利組合費補助	寄付	計
雜支出之部													
記載方總テ上表ニ同シ	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
災害土木費通計（國庫金ノ補助有リシモノ／國庫金ノ補助無キモノ）													
總計													

類別	水利組合事業						協議費事業						私人事業	合計
	水利組合費補助	國庫金補助	縣税補助	郡費補助	寄付	計	協議費	國庫金補助	縣税補助	郡費補助	寄付	計		
通常土木費														
新築改築工事（又ハ除却工事）之部														
記載方總テ上表ニ同シ	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

修繕工事之部	
記載方總テ上表ニ同シ	
雜支出之部	
記載方總テ上表ニ同シ	
通常土木費通計	
災害土木費	
新築改築工事之部	
記載方總テ上表ニ同シ	
復舊工事之部	
記載方總テ上表ニ同シ	

雜支出之部

類別	水利組合事業							協議費事業							私人事業	合計
	水利組合費	國庫補助金	縣税補助	郡費補助	寄付	計		協議費	國庫補助金	縣税補助	郡費補助	寄付	計			
記載方總テ上表ニ同シ	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
災害土木費通計 國庫補助金有リシモノ																
國庫補助金無キモノ																
總計																

一本表ハ郡市内ニ於テ一ケ年度間ニ施行シタル土木工費其他土木ニ關スル經費ノ決算額ヲ各類ニ區分シテ記載スルモノトス

一郡市町村税等精算報告書アルモノハ其報告書ニ記載シタル土木ニ關スル諸費ト本表ノ金額ト共ニ符合スルモノトス但其符合セサルモノアルトキハ其金額及理由ヲ備考ニ於テ説明スヘシ

一改修工事又ハ災害工事等ニシテ其工事數年ニ亘ルモノハ當該年度ニ於テ支出シタル實費ヲ掲クヘシ

一精算報告書ニ土木費トシテ記載セス別款ヲ以テ整理スルモノト雖トモ繼年改良工事費其他特種ノ工事ニシテ土木事業ニ關係アル諸費ハ悉皆本表ニ掲記スヘキモノトス

一實際其年度内ニ補助金寄付金等ナキ場合ハ勿論總テ登錄スヘキ事實無キトキハ其欄ヲ除キテ製表スヘシ

一國庫補給ニ係ル舊外國人居留地ニ要セシ土木費ハ一旦本表ニ掲載シ備考ニ於テ其工事別ヲ再掲スヘシ

一寄附ノ欄ニハ金員ノ寄付ヲ許可シタルモノ其他諸物件ノ寄付ヲ許可シタルモノノ賃錢代金ヲ見積リテ掲載スルモノトス但町村又ハ私人等ノ經營シタル物件ヲ市町村經濟等ヘ寄付シタルモノニシテ當該年度ノ收支決算ニ關セサルモノハ其物件ノ大小長短及其見積費額等ヲ備考ニ詳記スヘシ

一町村事業中ニハ町村組合ノ事業ハ勿論存續水利土功會又ハ水利土功ニ關スル町村聯合會ニ於テ經營シタル分ヲモ合記スヘシ

一水利組合事業ノ欄ニハ明治二十三年六月法律第四十六號ニ依レル水利組合ニ於テ施行シタルモノヲ記入スヘシ

一協議費事業ノ欄ニハ市町村會(存續水利土功會及町村聯合會ヲ含ム)又ハ區會ノ決議ニ依ラサル舊慣ノ協議費ヲ以テ施行シタルモノヲ記入スヘシ

一私人事業ノ欄ニハ法律ノ結果私人ノ義務トシテ施行スヘキ工事或ハ一會社一個人ニ於テ公共的ノ性質ヲ有スル事業ヲ特ニ許可ヲ受ケ施行シタルモノ即チ河川ノ新築、改築、浚渫又ハ道路ノ新築、

改築、橋梁ノ新架、架換又ハ港灣ノ改良、築堤、浚渫其他水路開鑿等ニ係ルモノヲ掲ケ單ニ一會社、一個人ノ利益ヲ目的トシテ精米、製絲等ノ工業用ニ供スル爲疏水工事ヲ行ヒタルノ類ハ記載スヘキモノニ非スト雖モ公衆運搬用ノ船舶ヲ通シ又ハ灌漑用水ヲ兼ヌルモノハ其疏水路ニ係ル工費ノミヲ本表ニ掲出スヘキモノトス但私人事業トシテ本表ニ記入シタルモノハ一工事毎ニ名稱、所在地、大小、工費等ヲ區別シテ備考ニ記載スヘシ

一災害土木費トハ水害、潮害又ハ風、雪、震災等ニ起因スル工事ニシテ報告例中年報某川流域水害表ニ掲ケタル事項ノ善後工事ニ屬スル經費ヲ謂フ

一災害土木費ニ對シ國庫ヨリ補助金ヲ受ケタルトキハ總工費豫算額及總補助額ヲ備考ニ記載スヘシ但シ災害工事ニシテ翌年度又ハ翌々年度等ニ亘ルヘキ見込アルモノハ各年度ノ使用豫算額ヲモ併記スヘシ

一工事完了ノ結果國庫補助金ニ殘金ヲ生シ一般歳入ニ編入シタル場合ニハ其金額ヲ備考ニ記載スヘシ

一新築、改築工事之部ニハ河川ニ在テハ新ニ河川ヲ開鑿シ堤防ヲ築造シ又ハ現在ノ位置ヲ變更スルモノ道路ニ在テハ新規ニ道路ヲ開設スルモノ又ハ在來道路ノ一部ニ就キ屈曲ヲ直線トシ或ハ道敷ヲ擴張スルノ類ヲ掲クルモノトス

一除却工事之部ニハ不用ノ堤防、道路、橋梁、暗渠等ヲ除却スルノ類ヲ掲クルモノニシテ新築改築費中ニ加ヘス別欄ヲ設ケテ記載スルモノトス

一新築、改築工費ト修繕工費ト區分シ難キ場合アルトキハ主ナル一方ニ記入シ備考ニ於テ説明スヘシ

一通常土木費雜支出之部ニハ土木委員費、定雇人夫費、工事ニ專屬セサル諸器具機械用紙文具紙費、臨時調査費、臨時測量費、浚渫費、異種類ノ工事ヲ列記シタル廣告料、保存用諸式代、材料置場借上料、量水標費、標柱費、澪杭費、事務所費、看守費等其他工事費中ニ併算スヘカラサル諸費ヲ掲記スルモノトス

一災害土木費雜支出之部ニハ水防費、臨時災害出張旅費(土木ニ關スル職員ノ諸費ノミニ限ル)臨時渡船費、假橋設置類、異種類ノ工事ヲ列記シタル廣告料等其他工事費中ニ併算スヘカラサル諸費ヲ記載スルモノトス

一河川ノ改修、疏水ノ新開、港灣ノ改良、用惡水路ノ新設、上水、下水ノ新開又ハ改良等ノ爲道路橋梁ニ對シ經費ノ幾部分ヲ支出シタル場合ニハ各本費ノ方ニ掲ケ道路橋梁ノ方ニハ加ヘサルモノトス但シ本文ノ場合ニ於テハ左ノ通リ備考ニ記載スヘシ

某川經費ヲ以テ施行セシ道路橋梁費	國道第何號線	道路費	〇、〇〇〇円
	縣道何々線	同	
	里道何々線	同	
		橋梁費	
		同	
		同	

某疏水經費ヲ以テ施行セシ道路橋梁費	國道第何號線	道路費	〇、〇〇〇円
	縣道何々線	同	
	里道何々線	同	
		橋梁費	
		同	
		同	

他ハ此例ニ倣フ

一工事ニ附帶スル雜費ハ出來得ル限リ之ヲ區別シテ其所屬ノ工費ニ併算シ其止ムヲ得サルモノノミヲ各工事ノ末項「區別シ能ハサル諸費」ヘ記入スヘシ

一工事ニ着手セスト雖モ測量費、材料購入費等ノ支出アリシトキハ其目的ニ從ヒ表中ニ記入スヘキモノトス

一一流域ニ屬スル河川池沼湖等ハ必ス同一欄ニ列記シ別箇所ニ掲出スヘカラス

一各河川ノ右側ニハ幹、支、派川ノ區別ハ勿論支川ノ支川ニハ小支ト記シ小支ノ支川ニハ小々支ト記シ其他ノ細流ニハ何川ノ支派等便宜河川ノ脉絡ヲ明カナラシムル樣記載スヘシ

一單流ニ非ラサル河川ニシテ幹支派川ノ内一川ノミニ經費ヲ支出セシ場合ニハ必ス幹何川、何川支派何川ト明記スヘシ

一池沼湖等ニシテ河川ノ源ヲ成シ又ハ河川ノ一部ヲ成スモノ並ニ其池沼湖等ニ注入スル他ノ諸川ハ悉ク一川ノ流域ニ屬スヘキモノトス

一河川ノ幹支派川ニシテ他府縣ヘ流出シ又ハ他府縣ヨリ流入スルモノハ河川名ノ側ニ「☆」印ヲ附シ對岸ノ他府縣ニ屬スルモノハ「×」印ヲ附スヘシ

一管内ニ同名稱ノ河川アルトキハ其河川名ノ下ニ各流末地名ヲ詳記シテ所在ヲ明カニスヘシ

一河川ノ項ニハ新川開鑿工、築堤工、水制工、護岸工、根固工、締切工、砂防工、閘門工、隧道工其他浚渫、量水、測量等ニ係ル一切ノ經費(土地買上代、諸機械費、工場費、用材貯蓄場費、水防費、監督費、監守費等ヲ含ム)ヲ掲記スルモノトス但砂防工事費ハ他ノ諸工費ト區別シテ記載スヘシ

一明治三十年法律第三十七號ニ依リ國庫ニ納付スヘキ金額等特種ノモノハ符合ヲ附シテ別記スヘシ

一疏水ノ項ニハ堰堤工、閘門工、隧道工、護岸工其他量水、測量等ニ係ル一切ノ經費(土地買上代、諸機械費、工場費、監督費、看守費等ヲ含ム)ヲ掲記スルモノトス

一道路ノ項ニハ新道開鑿工、道路改築復築工ハ勿論路面工、法留工、土留工、棧道工、濕拔溝渠工、保壁工、其他並木植附及手入、測量等ニ係ル一切ノ經費(土地買上代、砂利置場費、標柱費、除雪費、撒水費、監督費、看守費等ヲ含ム)ヲ記載スルモノトス

一國縣道ハ其工費ヲ各路線ニ區分シテ記入スヘシ

一里道ハ重要道路ト認ムルモノノミ線路別ニ掲出シ其他ハ各線ノ工費ヲ合計シテ記載スヘシ

一橋梁ノ項ニハ橋臺工、橋脚工、架構工等ニ係ル一切ノ經費(土地買上代、用材置場費、監督費、看守費等ヲ含ム)ヲ掲記スルモノトス但長六尺未滿ノ橋梁及土厚三尺以上ノ土橋ニ係ルモノハ之ニ關セス

一港灣ノ項ニハ棧橋工、防波堤工、繫船壁工、海岸堤防工、埋立工其他浚渫、浮標、澪標、測量等ニ係ル一切ノ經費(土地買上代、諸機械費、用材置場、監督費、看守費等ヲ含ム)ヲ掲記スルモノトス

一海岸ノ項ニハ海岸堤防工、防波堤工、護岸工、埋立工、海岸防砂工等ニシテ港灣ト稱セサル海岸ニ施行セシ一切ノ經費ヲ記入スヘシ

一用惡水ノ項ニハ溜池及用惡水路等ニ係ル農業土木工事費ヲ記入スルモノニシテ樋管工、堰堤工、築堤工、護岸工、導水橋工、隧道工等ニ係ル一切ノ經費（土地買上代、浚渫費、監督費、看守費等ヲ含ム）ヲ掲クルモノトス

一水道ノ項ニハ衛生土木工事費ヲ記入スルモノニシテ引入所諸工、水路護岸工、貯水池、沈澱池其他ノ諸池築造工、水管敷設工、導水橋工、機關室工、辨室工等ニ係ル一切ノ經費（土地買上代、工場費、用材置場費、監督費、看守費等ヲ含ム）ヲ掲クルモノトス

一下水ノ項ニハ衛生土木工事費ヲ記入スルモノニシテ溝渠開鑿工、暗渠敷設工、人孔設置工等ニ係ル一切ノ經費（用材置場費、諸機械費、浚渫費、監督費、看守費等ヲ含ム）ヲ掲クルモノトス

一農業土木工事費ト衛生土木工事費ト區別シ能ハサル場合ニハ其主タルモノニ合記シ備考ニ於テ說明スヘシ

一私人事業ニシテ國庫又ハ公共團体ヨリ補助ヲ受クルモノアリシ場合ハ他ノ公共團体事業同樣補助費ノ欄ヲ增設スルカ又ハ私人事業欄ニ列記スルカ便宜ノ方ニ從フヘキコト

（發送期日翌年一月三十一日）

年報 △第六十八表

軌道條例ニ依リ特許ヲ受ケタル諸會社營業ニ關スル事項（明治何年）應名

會社名	年末現在ノ一				
	會社位置	發著地名（幹支線別）	社長名	資本金 總額	資本金 拂込額
				円	円
某馬車鐵道會社					

年報

會社名	年末現在ノ二					年末現在ノ三							
	株主人員	株數	軌道ノ長 建設費	軌道ノ長 單線	軌道ノ長 復線	軌道ノ長 計	車輛數 客車	車輛數 貨車	使用人員 駕者	使用人員 運轉手	使用人員 信號夫	使用人員 何々計	使用馬匹
某電氣鐵道會社													
某人車鐵道會社													
何會社													
總計													
某馬車鐵道會社													
某電氣鐵道會社													
某人車鐵道會社													
何會社													
總計													
某馬車鐵道會社													

會社名	積立金 資産積立	積立金 特別積立	社債	財産總高
某馬車鐵道會社	圓	圓	圓	圓

會社名	使用人員				使用馬匹	積立金		社債	財産總高
	馭者	運轉手	信號夫	何々	計	責任積立	特別積立	金	
某電氣鐵道會社									
某人車鐵道會社									
何會社									
總計									

會社名	營業日數	運轉車輛數			乘客數		收入			
		客車	貨車	車輛走行哩數	乘客	貨物	前期繰越金	何々	計
某馬車鐵道會社									
某電氣鐵道會社		輛							
某人車鐵道會社		輛							
何會社		鎖							
總計		鎖							

會社名	支出										
	線路保存費	車輛費	運輸費								計
			諸給料	電力使用料	馬匹費	何々	小計	其他總計費			
某馬車鐵道會社											
某電氣鐵道會社											
某人車鐵道會社											
何會社											
總計											

會社名	純益金											
	配當金	積立金	役員賞與金	後期繰越金	何々	計	事故アリシ年月日	乘客	職員	其他	計	線路上ノ事故死傷（又ハ不注意死傷）
某馬車鐵道會社												
某電氣鐵道會社												
某人車鐵道會社												
何會社												
總計												

一社長名ノ欄ニハ社長、專務取締役、頭取等總テ社務ヲ主管スルモノ、姓名ヲ掲クヘシ

一建設費ハ左記ノ内譯ヲ備考ニ附記スヘシ

某會社	線路豫測費	円 0,000	軌道費	円 0,000	建築用具費
	工事監督費		停車場費		營業用電線架設費
	用地費		車輛費		馬匹購入費
	土工費		器械場費		電信電話架設費
	橋梁費		諸建物費		何々
	暗渠費				
	隧道費		運送費		合計

一事故死傷ハ一事件毎ニ記入シ其概況ヲ備考ニ記載スヘシ

一二個人ニシテ特許ヲ得タルモノモ本表ニ準シ記載スヘシ

年報 第六十九號

道路延長幅員及匂配（明治何年十二月三十一日調）

（發送期日六年自四月三十日）

廳名

年里	名稱	延長 山地	延長 平地	延長 計	平均幅員	坂路ノ平均匂配
市町村	縣税補助ノ制規アルモノ	間 0,000	間 0,000	間 0,000		
税負擔	同上ナキモノ					

年報	道	再掲	何々往還又ハ何處ヨリ何處ニ至ル路線
		計	

一本表ニ縣費支辨ニアラサル里道ヲ記入スヘシ

一重要ナルモノハ路線名又ハ起終點地名ヲ記シテ之ヲ再掲スヘシ

一延長ニハ橋梁、渡船場等ヲ算入スルモノトス但シ海峽ニ係ル渡船場ハ之ヲ除キ其兩端地名及海里數ヲ備考ニ掲クヘシ

一平均幅員ハ濕拔、溝敷、並木敷ヲ除キタル純粹ノ道敷平均幅ヲ掲クヘシ

一間未滿ノ少數ハ分ヲ以テ記スヘシ

年報 第七十表

橋梁（明治何年十二月三十一日調）

（發送期日六年自四月三十日）

廳名

年里	名稱	一間以上十間未滿	十間以上三十間未滿	三十間以上六十間未滿	六十間以上百間未滿	百間以上	計
市町村	縣税補助ノ制規アルモノ						
税負擔	同上ナキモノ						

報							
道							
計	鐵橋	石橋	木橋	土橋	何橋		

一本表ニハ縣費支辨ニアラサル里道ノ橋梁ヲ記入スヘシ
一長六尺未滿ノモノ及土厚三尺以上ノモノハ算入スヘカラス
一長ハ張板アルモノハ張板ノ長石橋ハ敷石土橋ハ枕木ノ中心ヨリ中心迄ノ長ヲ算スヘシ

○神奈川縣令第六十六號

明治三十三年十一月二十日

明治三十三年外務省令第二號外國旅券規則第二條ノ書面ハ郡市町村長ヲ經由スルヲ要セス
前項書面ニハ當事者ノ印鑑ニ對スル相當証明書ヲ添付スヘシ

郡役所　市役所

○神奈川縣訓令第三十四號

明治三十四年十月八日

郡市役所文書編纂保存規程左ノ通之ヲ定ム
町村役場文書編纂保存ノ規程ハ郡長ニ於テ本規程ニ準シ之ヲ定ムヘシ

郡市役所文書編纂保存規程

第一條　文書ハ暦年ニ依リ事務ノ種類毎ニ區別シ事件完結ノ月日ヲ逐ヒ編纂シ冊首ニハ目次ヲ付スヘシ但シ會計ニ關スルモノハ會計年度ニ依ルヘシ
文書ノ分類及其ノ表題ハ年年一定ニ整理スヘシ
第二條　編纂ノ文書及假綴ノ帳簿類ハ翌年六月限リ之ヲ鋲釘シテ保存スヘシ
第三條　編纂ノ文書ニシテ紙數多キモノハ之ヲ分割シテ數冊ト爲シ寡キモノハ數年ヲ通シテ合綴スルコトヲ得
文書ヲ分割スルトキハ月別町村別又ハ事件別トシ其ノ表紙ニハ冊數番號ヲ附記スヘシ
第四條　郡市長又ハ市參事會ニ於テ保存スルノ必要ナシト認ムル文書ヲ廢棄セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
第五條　廢棄ノ文書中印影アルモノハ之ヲ抹消シテ賣却スヘシ但シ公示スヘカラサルモノハ之ヲ燒却スヘシ
第六條　郡市役所ニハ文書臺帳ヲ設備シ保存ニ係ル文書ノ名稱及其ノ年號員數等ヲ記載スヘシ

附則

第七條　此ノ規程ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行ス
明治十一年十一月乙第百五十九號達ハ此ノ規程施行ノ日ヨリ廢止ス

○神奈川縣訓令第十七號

明治三十六年五月十九日

郡役所　市役所　町村役場

明治三十六年勅令第八號ニ依リ地租ノ年賦延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ市町村ハ左記樣式ニ準據シタル帳簿ヲ備ヘ之ニ依リ年賦金ノ調定ヲ爲スヘシ

延納ヲ許可セラレタル土地ニ付テハ地租名寄帳當該摘要欄ニ許可年月日及何年分地租（全額又ハ第何期以下）延納ノ旨ヲ記載スヘシ

地租年賦延納額名寄帳

公署名

凡例

一 畑租ニ關スル帳簿ハ本樣式ニ倣ヒ調製スルモノトス

二 延納期間內ニ更ニ地租ノ延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ現在額ヲ整理シ揭記スルモノトス

田ノ部

住所
氏名

摘要	許可額	延納期間	毎年納額	各年毎納期納額 第三期	第四期	第五期	第六期
三十六年十月三十日許可	円 一二〇〇	三十七年	円 四〇〇	円 一〇〇	円 一〇〇	円 一〇〇	円 一〇〇
		三十八年	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
		三十九年	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
三十七年十一月十日許可	円 一四〇〇	三十八年	八〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
		三十九年	八〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
		四十年	八〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三十七年十一月十日現在		三十八年	一二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
		三十九年	一二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
		四十年	八〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

○神奈川縣訓令第十八號

明治三十六年六月九日

郡役所

一 郡長部外ニ出張セントスルトキハ其地名、用務及出張ノ豫定日數等ヲ詳具シテ知事ノ許可ヲ受クヘシ

二 郡長部外ノ出張ニハ其時々出發歸著ヲ知事ニ申報スヘシ

三 郡長部外ノ出張ニシテ事緊急ヲ要シ之カ許可ヲ受クルノ遑ナキトキ若ハ法規ニ基クモノハ直ニ出張スルコトヲ得此場合ニ於テハ其事由及出發歸著ノ月日等ヲ歸著ノ日ヨリ二日以內ニ知事ニ申報スヘシ

四 郡長部內ノ出張ハ知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

五　郡書記、郡視學及郡吏員ノ出張ハ渾ヲ郡長之ヲ命スヘシ
六　明治十一年十一月達乙第百五十二號ハ廢止ス

郡役所　市役所　町村役場

○神奈川縣訓令第十九號　明治三十六年六月二十三日

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ許可セラレタル者アルトキハ明治三十六年五月神奈川縣訓令第十七號ニ準據シ其ノ整理ヲ爲スヘシ

郡役所

○神奈川縣訓令第二十三號　明治三十六年七月九日

本年七月十一日ヨリ九月十日迄諸官員ニ暑中休暇ヲ賜ヲタルニ付左ノ通心得ヘシ

一　全員（日給雇ヲノ除ク）半數以內休暇スルヲ得但事務差支ナキ樣致スベシ
二　休暇スルモノハ休暇日ヲ郡長ニ届出ヘシ
三　休暇中旅行スルモノハ其地名及出發、歸著ヲ郡長ニ届出ヘシ
四　郡長休暇中旅行ノ場合ハ前項ニ依リ其旨知事ニ申報スヘシ

神奈川縣現行法規　終

明治三十七年二月十六日印刷
明治三十七年二月十九日發行

神奈川縣內務部

印刷者　横濱市本町六丁目八十二番地　山崎芳藏

印刷所　横濱市本町六丁目八十二番地　横濱活版舍

4ＴＴＡ－13

031226－000－3

CZ－1113－41－02

神奈川県現行法規

神奈川県内務部

M37

BBD－0228